2022年8月1日

月刊もぐら通信

2025年8月1日　第１５８号　初版　http://abekobosplace.blogspot.jp

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：
迷う事のない迷路を通って
あなただけの番地に届きます
電話 042-ABE-KOBO
FAX 042-KOBO-ABE

目次

１ 目次…page ２
２ 記録＆ニュース＆掲示板page ３
３ 巻頭詩（４３）：Fishermen：釣り人たち：エリザベス・ジェニングス……page １０
４　コーボー・ベーシックス **kobo basics**（４）：ブラッソン……page １４
５『都市への回路』論（１３）：　（２）演劇について：①アメリカの『友達』……page ２０
６　神奈川近代文学館「特別展「生誕100年　ドナルド・キーン展―日本文化へのひとすじの道」」に展示されてゐる安部公房　……page ２６
７　ＳＦで思考するための本棚（７）：古事記SF論（２）……page ３４
８　サンチョ・パンサを求めて（２２）：語学の天才とはどういふ人間か……page ３５
９　私の本棚（４６）：宝島社『６０歳すぎたらやめて幸せになれる１００のこと』を読む……page ４３
１０　遁走倶楽部（２）：エピチャム語から本邦初の翻訳　S・カルマ氏［翻訳］岩田英哉……page ６９
１１　日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（７）：４.１.３　日本国家軍事費用計算論……page ４４
１２　ネット・モナド論（３１）：プーチンは何を考へてゐるか３：Bretton Woods III……page ４７
１２　ネット・モナド論（３２）：安倍晋三元総理を暗殺した者は誰か……page ５２
１３　カフカの箴言（４）……page ６０
１４　糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（３）：１。古事記の中の糞尿と性愛/１.１ 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（２）：待て次号：岩田英哉…page
１５　高天原便り（４）：私が妊婦になつた話……page６３
１６　縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（３４）：５.３６　鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？/５.３７　大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか……page ６６
１７ Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（１２）：扇… page
１８　東ドイツ回想記（１）…page
１９　編集後記…page ６８
２０　編集方針……page ６９

ニュース＆記録＆掲示板

The best tweets of the month

該当なし

該当なし

今月の裁かれる記録係

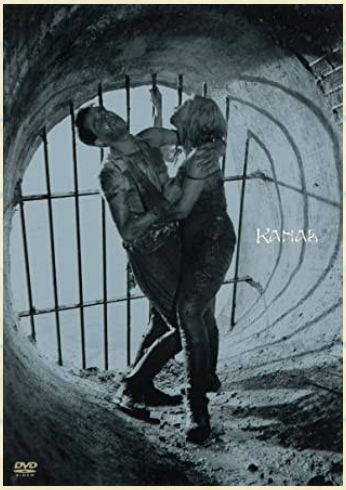
ホッタタカシ@t_hotta·46m

安部公房はエッセイ「裁かれる記録係」で『地下水道』を取り上げ、「はたしてこれを、単純にレジスタンス映画とよんでもいいものだろうか？」とテーマと描写の乖離に疑問を呈している（後にこの年の映画ベストテン第３位に選出しているが）。

Quote Tweet

なまえちゃん@_1989_o· Jul 30

大学2年生の時に受けた東欧史の授業で「私はもう二度と見ないですけど傑作です」って言われたアンジェイ・ワイダ監督の「地下水道」を見たんですけど、私ももう二度と見たくない。見ていて今までで1番怖くて辛い映画だった。呪詛とかミッドサマーで怖がってる場合じゃない。全人類「地下水道」を見ろhttps://twitter.com/_1989_o/status/



https://twitter.com/_1989_o/status/1553220115776557056/photo/1

今月の他人の顔

阿乱隅氏@yoiinago417·Jul 28

明日はBS松竹東急「他人の顔」放送。安部公房原作脚本、監督勅使河原宏の「砂の女」コンビが、不確かな世界におけるアイデンティティの問題を追及した野心作です。先鋭的な美術等に見る「60年代モダン」なビジュアル面も見どころ。主人公の妻京マチ子の美貌。岸田今日子に市原悦子、クセ者女優の怪演。

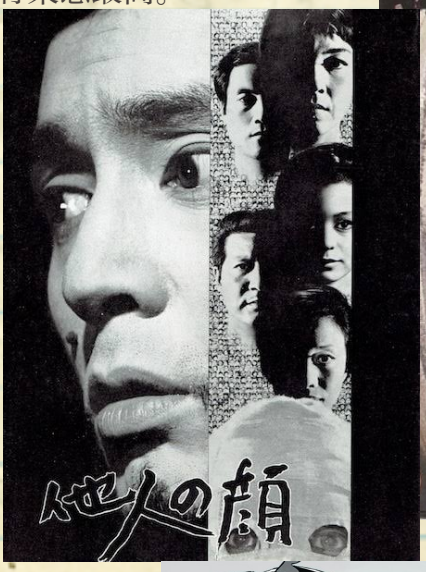
ねひつじ@nehitsuji·15h
武満徹、安部公房　#他人の顔

ホッタタカシ@t_hotta·Jul 29
去年の勅使河原宏没後20年のトークショーで、石井岳龍監督が「『他人の顔』だけは少しノレなかった、安部公房文学の映像化で背景美術がシュールを演じるのはマズいと思う。仲代さんが損してる」と指摘していたが、原作が思弁小説なので筋書きだけ取り出すと陳腐化する恐れを抱いたのかもしれない。

ホッタタカシ@t_hotta·Jul 29
今夜20時からBS松竹東急で『他人の顔』。
安部公房原作・脚本映画では、『砂の女』や『燃えつきた地図』よりも脚色度が高めです。監督の勅使河原宏は本来、挿入される「原爆でケロイドを負った少女」の挿話をより拡大した脚色を構想していたとのこと。

shochiku-tokyu.co.jp
よる８銀座シネマ　他人の顔 ｜ ＢＳ松竹東急
安部公房×勅使河原宏のアバンギャルドな世界。現代都市で揺らぐ人間存在を描く衝撃作!!ノーカット放送

S*H*A*M@Sham_Tear·Jul 29
今夜、日テレで「ジュラシック・ワールド」を放送する裏に、安部公房×勅使河原宏「他人の顔」をぶつけるBS松竹東急最高。

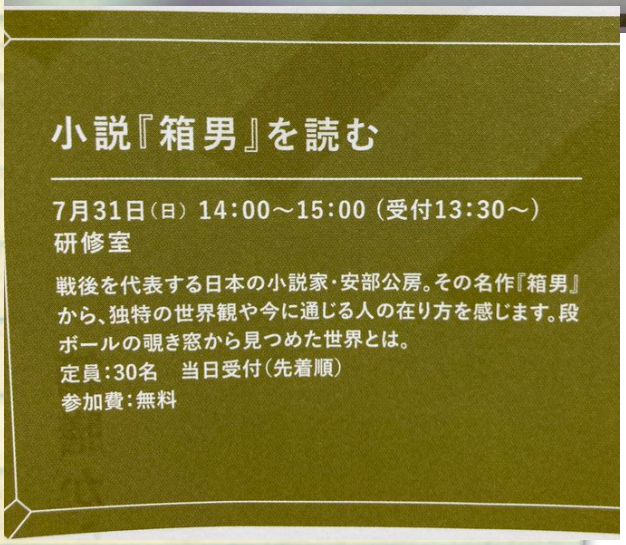


小林俊雄@kobarn54·Jul 25
70年代前半に紀伊國屋ホールで、安部公房・戸板康二・大江健三郎の講演があった。最初に安部公房が「私の日本語は常軌を逸しているので、皆さんの言語感覚を壊してしまうかもしれません。しかし次の戸板康二先生が正常に戻してくれるでしょう。で、大江健三郎が再びぶち壊す、と」。

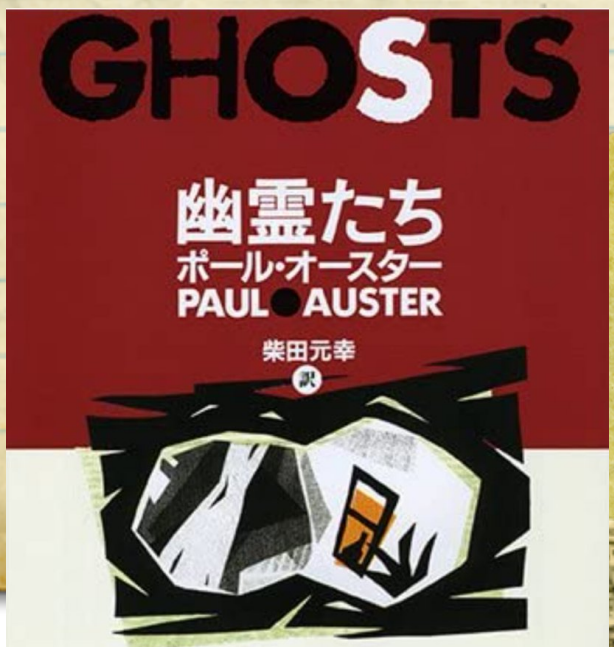
今月の読書会
大浦るかこあにまーれ@Rukako_Oura·Jul 24
【配信のお知らせ】
7/25(月)24:00からは獅子王クリスさんと読書会です
今回の課題図書は『砂の女 / 安部公房著』
近所の本屋になくて焦ったけど前日に気付いてよかった……
よろしくお願いします！

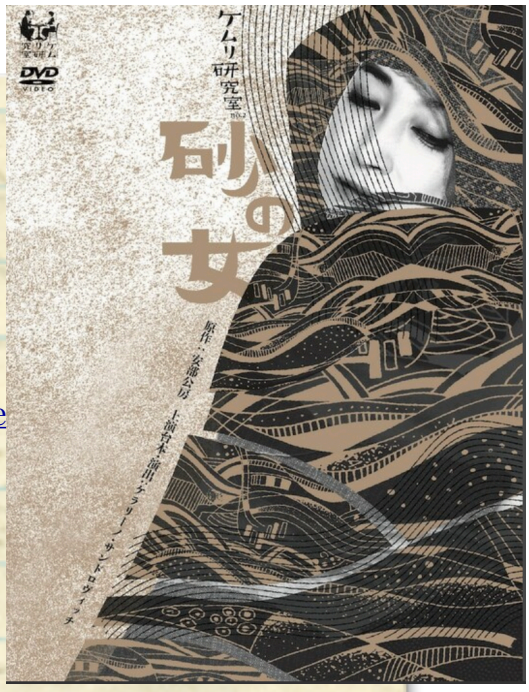
#知るかコラボ
https://youtu.be/6Vpx7qzfO2M

緑八〇七@kou_chan807·Jul 24
ハコ展に行ってきました。
箱だけに焦点を当てたマニアックな展示会。
企画者は変人だなと思いました。31日には
安部公房の「箱男」を読むイベントもある
そうです。企画者は変人だなと思いました。
長持の展示のところに江戸川乱歩のお登勢
登場が紹介されていました。
企画者は変人だなと思いました。



今月のポール・オースター
ホリディ@109holiday·Jul 26
#幽霊が出てくるミステリ
『幽霊たち』ポール・オースター
そもそも、これはミステリなのか
一応探偵小説としても読めなくはない
安部公房『燃えつきた地図』を思わせる
展開とテーマ
文字通りの幽霊は出ないが、我々はより
幽霊の如き物に囲まれているのかもしれない





今月の砂の女
ケラリーノ・サンドロヴィッチ&緒川たまきのケムリ研究室「砂の 女」DVDが本日発売
https://news.yahoo.co.jp/articles/95109ca6d5c6f35ea81652fcae67751c0f4aa30d/image

ドナルド・キーン展
神奈川近代文学館にて、只今、「特別展「生誕100年 ドナルド・キーン展―日本文化へのひとすじの道」」が開催されてゐます。

安部公房のドナルド・キーン宛書簡が、三島由紀夫や川端康成のものと一緒に、展示されてゐます。

文学館の当該ウエッブ・ページは：https://www.kanabun.or.jp/exhibition/16413/

【会期】
2022年5月28日（土）～7月24日（日）
休館日：月曜日（7月18日は開館）
【開館時間】
午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
【会場】
神奈川近代文学館第2・3展示室

【観覧料】
一般700円（500円）、65歳以上・20歳未満及び学生350円（250円）、高校生100円（100円）、中学生以下は無料
＊（　）内は20名以上の団体料金

関連行事：
記念対談
2022年6月18日（土）　「それぞれの交遊――ドナルド・キーンを語る」
出演：角地幸男、キーン誠己

文芸映画を観る会
2022年7月8日（金）、9日（土）　「細雪」（1950年　新東宝
原作：谷崎潤一郎　監督：阿部豊）

ギャラリートーク
2022年6月12日、7月3日、17日（いずれも日曜日）　各日14:00～
参加無料・申込不要（要展示観覧料）
会場＝展示館1階エントランスホール

もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（２０１２年９月３０日）から数へて来月が丁度１０年目です。この１０年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第４信』全集第１巻７８ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

１。応募期間：２０２１年９月１日より２０２２年８月３１日まで１年間。発信主義。着信主義ではない。８月３１日付の発信は有効です。
２。送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com
３。対象ジャンル：小説
４。小説の長短：
次の安部公房の短編の量の間のいづれかの量：
（１）『赤い繭』の量：最小２０００文字（４００字原稿用紙５枚）
（２）『魔法のチョーク』の量：最大６３００文字（４００字原稿用紙１６枚）
（＊）コントは対象外とします。

５。応募条件：
（１）安部公房の読者
（２）一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
（３）年齢：不問
（４）性別：不問
（５）国籍：不問
（６）言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
（７）提出文書のフォーマット：pdf
（８）かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

６。応募名：
（１）本名を名乗つてはならない。
（２）安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。
（３）ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
（４）最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

７。選考委員：
（１）もぐら通信の全ての読者
（２）国内外の読者を問はない。

８。作品の公表：
（１）編集部に到着後都度読者に配信します
（２）月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

９。評価方法・評価基準：
（１）安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
（２）採点の範囲は、１点から１０点まで
（３）最終的な判定は、もぐら通信編集員及び発行人が各作品に下す

１０。評価・選考のためのネット選考会月次開催
これは都度案内します

１１。賞金：１０万円
最終受賞者の複数ゐる場合には均等に分割する

１２。将来の展望：
ノーベル文学章の日本円換算１億円以上にします

以上

巻頭詩
（４３）

釣り人たち

エリザベス・ジェニングス
翻訳　岩田英哉

ELIZABETH JENNINGS

FISHERMEN

This to be peace, they think beside the river
Being adapted well to expectation
And their wives' mutiny at no achievement,
And yet can sit watching the promises
Escape through weeds and make a trial of biting,
Can lose them thankful that it is not yet
Time to draw in the line and drain the net.

Learning themselves in this uncertainty
Each hardly cares whether a fish is caught,
For here is privacy, each warns himself,
The fish, inquiries in the river, not
When drawn out promises at all
Being so solid on the bank and still.

Only the boys who live in certainty,
With expectation other than the stream,
Jeer at the patience and draw up their net
Of future frogs, the river vague to them
Until it's empty. But the old men fill
Their eyes with water, leave the river full.

【和訳】

これだ、心の平安とは、川の傍にゐて思ふ釣り人たちの思ひは
よく釣果の期待によく馴染んでゐて
そして、その妻たちの特権は、夫の釣果の約束なくとも、
そして、しかし、約束の魚たちが藻草の間をすり抜けて逃げてゆき、また餌に試しに食いつくのをただ座つてゐて、それを凝（ぢ）つとみつめることのできるといふことであり、
魚たちを獲り逃しても、ああ、ありがたいことだ、まだ釣り糸を引く時ではなく網を上げる時ではないのだと。

自分達は不確かなことの中にゐるのだと学ぶことをしながら
一人一人は魚が一匹獲れたかどうかなどは殆ど気にしてゐない、
といふのは、ここは私ごとの場所なのだからであり、一人一人が自分自身に注意を促してゐるからであり、
魚といふものは、川の中にゐる御尋ねものであるのは
少しも釣果の約束を川から引っ張り出したときなのでは全くなく
かくも固くなつて岸辺にあり、そして動かずに静かにしてゐるからなのだ。

確かなことの中に生きてゐる少年たちだけは、
川の流れよりほかの釣果の期待に思ひを寄せるが故に、
釣り糸を垂れて待つ忍耐をからかひ、そして未来の蛙のたくさん入つたタモを引き上げるのだが、川は空つぽになるまでは少年たちには曖昧模糊たるものである。しかし、老人たちは、その目を水で満たし、川を水で一杯にしたままにしてをくのである。

【解釈と鑑賞】

この詩の題名は釣り人たちといふのであるが、一体何を歌つた詩であるのかかといふと、まづ釣り人たる男たち（第一連）、次に妻たち（第一連）、次に子供たち（第三連）を詠んでゐる。そして最後の一行に老人が登場する。

第二連は、男たちが不確かな状態の中にゐて、第三連にゐる少年たちは確かな状態の中にゐるとして、対比的に詠まれてゐるのは何の意味があるのであらうかと尋ねてみると、大人の男たちは魚がかかつたなどといふことはほとんど意に介してゐないが、これに対して少年たちは魚を釣ることの期待が一杯で（これが

expectationsといふ複数形の期待の意味するところ）、凝（ぢ）とつ待つてゐる釣れない状態に意味を見出すことができずに、あれ、お前はまだ釣れないのかい？などと揶揄（からか）ひ合つてゐるし、タモに未来の蛙が一杯入つたやつを引き揚げるものだ。といふのであるが、この未来の蛙（future frogs）とは、実際に川辺の葦の間にある蛙の卵のことを言つてゐるととることもできれば、蛙の卵は今直ぐには孵化しないので、タモで掬つても孵化するまでは、いづれにせよ、魚釣りの本質と同じで、ぢつと待つこと、待機することこそが釣りの大人たちに教へる真理なのだといふことを知らぬ子供たちの幼い理解を、さう歌つてゐると解することができる。未来の蛙とは、その通りの子供たちの姿である。これは第二連に描かれてゐる大人の釣り人たちの自己研鑽といはうか、自己意識の統制をよくするといはうか、そのやうな私的な私ごとの場所にゐて、釣り上げることに関心と注意が向くのではなく、それは忘れてゐて気がつくと魚は岸辺にあつて動かずにゐて、静物である。これが大人の釣りであり、釣果の姿だ。待つてゐても釣れないかも知れない。たくさん釣つて来るぞと勇ましく言つては見たものの、これがpromises（約束の複数形）といふ意味で、大人の釣りには、約束した釣果が大事なのではないといふことは上述の通り。これが大人の釣りの不確かさ。少年たちの確さは、この正反対で、これも上述の通りです。

さて、このやうに未来ある少年たちには川の流れといふ時間の流れは曖昧なのであり、未来不確定である。これが不確かな状態（uncdertainty）といふ意味。川の流れを時間の流れといひかへることは無粋ではあるが、さういつてみると、子供と大人と釣りの関係がはつきりします。少年に対するに一番老年である大人である老人たちは、目に川の水が、時間の流れの水で満たされてゐるので、川がたとへ空つぽになつても、つまり人生の終はりになつて川が流れず、時間がなくなつても、川は依然として水に満たされて流れてゐるのは、老人といふものが川の流れをそのままにしてをいてゐるからである。

さて、ところで妻たちは何をしてゐるのだ？

そして、その妻たちの特権は、夫の釣果の約束なくとも、
そして、しかし、約束の魚たちが藻草の間をすり抜けて逃げてゆき、また餌に試しに食いつくのをただ座つてゐて、それを凝（ぢ）つとみつめることのできるといふことであり、
魚たちを獲り逃しても、ああ、ありがたいことだ、まだ釣り糸を引く時ではなく網を上げる時ではないのだと。

これが大人の女性たる妻の態度であると女性詩人は歌つてゐる。妻たる女性にも夫と共に夫に合はせて待つだけの忍耐と感謝があるといふことでせう。これはこのまま、もしこの詩人が誰かの妻であれば、妻としての心得でもあるでせう。釣りの本質を忍耐だといひ、不確実性の中にぢつと魚と呼ばれる何かを待つことだといふならば。

ここまで来ると、魚は遂には魚ではない何かである魚になつてしまつてゐる。

コーボー・ベーシックス

kobo basics
（4）

ブレッソン

岩田英哉

ブレッソンはフランスの写真家で、姓名の全体はカルティエ・ブレッソン。安部公房スタジオの稽古場で撮影された次の作品が、私たち読者には親しいものでせう。これは１９９８年１月から２月にかけて調布市文化会館での安部公房展の広告のチラシに使はれたもの。

この写真についての安部公房自身による解説がある（全集第２６巻、２８２ページ）。「「人さらい」の稽古中だった」とあるので、この上演は次の日程で上演されたので、１９７７年の「たぶん四月の終りだった」と安部公房は述べてゐる。上演は同年６月であつた。

「1977年6月、
「人さらい（イメージの展覧会PartⅡ)を安部公房スタジオで演出、作曲、上演(西武美術館、三ー七日）。
同月、「水中都市」を再演(大津西武ホール、十六ー十八日。名古屋中日劇場、二十六日
。大阪毎日ホール、七月三日)。」
（「桐朋学園芸術短期大学芸術科演劇専攻同窓会」：https://ameblo.jp/tomogeki/entry-10050220578.html）

安部公房の『買物――作家の生活』といふエッセイは次のやうに始まつてゐる。この題名の言葉のうちにある買物といふ言葉に注目してもらひたい。この売買といふ商業的行為のうちの一人の消費者または生活者として近所のスーパーマーケットに歩いて行つて帰つて来るまでの間に使ふ言葉で小説を書くのだ。といふ安部公房の散文精神は、しかし同時に此の作家の詩精神であるといふこと、この詩精神をそつくりそのまま白黒に写した写真が、ブレッソンの写真であるといふことを、この題名のもとに安部公房は示唆してゐるのです。

「とにかく、小説の発想には原則として、スーパーに買い物に行って帰ってくるまでの間に使わない言葉は使わないように心掛けているんだ。夢の言葉ってそんな感じだろ。」（『破滅と再生Ⅰ』全集第２８巻、１４３ページ下段）

といふことは、安部公房はブレッソンの作品が好きでしたから、その理由は此処にあるやうに「スーパーに買い物に行って帰ってくるまでの間に」使はれる言葉で書かれた文章に相当する写真であるといふことになります。しかし、「スーパーに買い物に行って帰ってくるまでの間に」使はれる言葉といふ言葉の数は、極端に少ない言葉の数でありますから、安部公房の散文精神とは限りなく詩精神に近づき等しいものとなり、私たち読者の強烈に牽引される通りに其の文章は、これも限りなく詩的な、従ひ安部公房の文体の創り出す生理的な感覚とともに多義的な意味を担つた一行一行の表現となつてゐます。

このブレッソンの写真のもつ日常的な感覚を、安部公房は次のやうに『買物――作家の生活』といふエッセイの冒頭で述べてゐる。

「「人さらい」の稽古中だったから、たぶん四月の終りだったと思う。アンリ・カルチエ・ブレッソンが僕のスタジオに写真を撮りに来た。例の決定的瞬間のブレッソンである。どんな事情でそういう事になったのか、よくは分からなかったが、かねて強い関心をもち、また敬意を払っていたカメラマンのことだし、一もニもなく撮影に応じる事にした。撮ってもらいたいというより、どんな撮り方をするのかに興味があったのだ。」（全集第２８巻、２８２ページ上段）（傍線は原文では傍点）

フレッソンの写真撮影の仕方はこんな風であつた。

「　ブレッソンは稽古の途中で現れた。数十分のあいだ、稽古場の隅から、こっそりシャッターを押していたような気がする。休みになってから、事務所でしばらく雑談した。思い出したようにカメラを構えたが、どうでもいいような感じだった。ブレッソンの来訪は人違いで、来てみてから人違いに気付いたのかもしれないという気さえした。」（同上）

「ところが、一か月ほどして、ブレッソンから一枚の写真が送られて来た。あの日の写真だった。左下に僕の顔があり、背景に二人ばかりの俳優らしい姿が認められる。いかにもブレッソンらしい黒白の比率のいい写真だ。とくに照明もなかったはずだのに、薄暗がりの中に僕だけがちゃんと浮かび上っている。考えてしまった。何時シャッターを切ったのだろう。
背景の形から、やっと思い出していた。休みに入って、演出の椅子から腰を上げ、最後列にいたブレッソンに挨拶しようと椅子の列をまわり込んだ時、僕の挨拶をさえぎるようにして彼がいきなりシャッターを切り出したのだ。困惑した僕が、救いを求める気持で横の通訳を見た。その瞬間のことである。ほんの瞬間のことだから、僕はちょっと時間がつまずいたような気がしただけだ。まさかその瞬間をブレッソンが待ち受けていたなどとは想像もしていなかった。あれが彼にとっての決定的瞬間だったらしいのだ。それとも罠だったと言うべきか。」（全集第２８巻、２８２から２８３ページ）

冒頭の写真はブレッソン流の「決定的瞬間」といふわけです。

何故安部公房はブレッソンが好きなのかについて、安部公房は次のやうに語つてゐる（全集第２８巻、４１４ページ）。

「　ブレッソンについて語ることは不可能である。なぜならその画面のなかで、つねにすべてが語りつくされているからだ。
　その画面は空間の窓というより、むしろ時間の窓だろう。時間を突き抜けて走る列車の窓である。どの光景にもつよい既視感がにじんでいる。しかもなぜか私

的な記憶を呼びさまされるのだ。ぼくは「そこ」をよく知っている。ぼくは「そこ」で立ちすくみ、強く両眼を閉じて心をかきみだされながら、不可解なその場面の意味を記憶のなかに刻みこんでしまうのだ。
　ブレッソンはぼくにとって単なる偉大な写真家にとどまらない。自分の眼球の運動軌跡が無条件に共鳴するほとんど唯一の作家である。ぼくはそのたびごとにブレッソンがシャッターを切ったその瞬間、その場面に引き戻されてしまう。
［1988.10.19］」

クリヌクイ　クリヌクイ
カーテンにうつる　月のかげ

この詩が、安部公房の小学生の時代の、恐らくは一桁の学齢の時に書いた、安部ねり著『安部公房伝』に引用されてゐる詩です。この詩で解ることは、

１。安部公房は部屋の電気を消して、窓の外を恐らくは白いカーテン越しに射してくる月の光を影としてみてゐるといふこと。この明暗の論理の逆転は、安部公房の終生に亘るメビウスの環の論理、即ち一筆書きの、従ひトポロジー（位相幾何学）の論理でした。このカーテンに映る、外部の現実の其の影といふ映写は、安部公房の映画好きを既に示してゐて、芥川受賞作『壁』所収の傑作「S・カルマ氏の犯罪」の最後の場面に登場するせむし男ロール・パン氏が映写技師であり、その映写幕の中に主人公が逃亡するといふ形象は、子供の時代からの形象だといふことも、この詩から知られます。

２。窓から眺めるまたは除く外界の現実は、異界であつて、「クリヌクイ　クリヌクイ」と栗売りの満州人か支那人か朝鮮人の声は、繰り返しといふことから異界に棲む魔物の呪文のやうに響いてゐる。ここから最後の、繰り返し呪文の声明される長編小説『カンガルー・ノート』まで一本道で通じてゐるし、また窓から外界としてある異界を眺めるといふことからは、いふまでもなく、これも傑作『箱男』を思ふ読者もゐることでせう。

このやうなことを上記のブレッソン評では、「その画面は空間の窓というより、むしろ時間の窓だろう。時間を突き抜けて走る列車の窓である。」と言つてゐる。ブレッソンの写真は黒と白の「時間を突き抜けて走る列車の窓」である。『カンガルー・ノート』では、この列車の窓の働きを自走ベッドが演じてゐる。安部公房は宮澤賢治が好きでしたから、きつと『カンガルー・ノート』は安部公房の『銀河鐵道の夜』であるに違ひないと私は思つてゐます。作品を贈られた安部公房のお礼の手紙が残つてゐます。

「黒から湧き出る白　白に落ちていく黒
　たがいに溶け合うことなく、機略に富んだせめぎあい
　平面と立体のあいだの　存在しない次元に
　さしかかった一羽の鳥
　追憶に声を奪われた　沈黙の鳥

　カルティエ　ブレッソン様
　すばらしい写真、ありがとう。

安部公房　1989.2.16」
（全集第２８巻、４１６ページ）

この詩は、安部公房の「セシル・サカイ宛書簡」による依頼によつて、セシル・サカイといふ「先日デンマークのリディンさんと会ったおり、あなたの噂が出ました。彼の表現を借りれば、「あの美人の日本語研究家、の娘さんは、すごく偉くなって、いまはパリ大学の教授だ！」といふこの女性を通じて写真家に届けられた模様です。曰く、

「もし好意に甘えさせていただければ、適当に印象を意訳して、ブレッソン氏に電話でもしてあげていただきたいのです。」
（全集第２８巻、４１７ページ）

このころ、安部公房は「やっと健康を恢復し」、『スプーン曲げの少年』といふ「新しい小説を三合目まで征服したところです。」
（同上）

ブレッソンの写真をネット上に探すと、確かに安部公房好みで、安部公房の写真に通じてゐます。

RAILOWSKY
RAILOWSKY

『都市への回路』論

（１３）

（２）演劇について

①アメリカの『友達』

岩田英哉

目次

（１）小説『密会』をめぐって[聴覚の小説『密会』]
①病院という舞台
②強者と弱者
③逆進化の逆説
④現代小説の陥穽
⑤マルケスとポー

（２）演劇について
①アメリカの『友達』
②演劇の現代
③夢と俳優
④デジタルとアナログ

（３）写真について[視覚の小説『箱男』]
①写真について
②覗きの構造
③廃棄物
④盗聴とセックス

（４）音の領域
①音楽の時間
②抒情の効果

（５）都市に向って
①花田清輝
②国家と暴力
③都市に向って
④祭りへの不信

青字がこれまで論じて来た項目、赤字が今回論じる項目、黒字はこれからのものです。

＊＊＊

（２）演劇について：①アメリカの『友達』

この場面の話は、安部公房スタジオがアメリカ公演をする前の時期に、アメリカで戯曲『友達』が上演されたことについてのインタヴュアーの質問に作者が回答するといふものになつてゐます。

安部公房はこの渡米で演出家のディロン氏の演出した舞台とディロン氏に観劇を薦められて見た二つの芝居を見てゐます。一つは「アメリカの地方都市ミルウオーキー」での『友達』、もう一つはニューヨークでのカフカを脚色した『K』といふ芝居です・

『友達』は「ミルウオーキーで、この一月下旬から」上演されてゐる。この公演を、安部公房は現地に足を運んで観劇したので、その感想を訊いてゐるのです。「この一月下旬」とは１９７８年の一月のことで、このインタヴューの発表が同年４月１日ですから、実際にインタヴューは遅くとも前月の３月には行はれてゐいたでせうから、まだ帰国してひと月経つか立たぬかといふ時期の、まだ記憶と感動の新鮮な時期の安部公房の発言です。

公演の場所は、ミルウオーキーのレパートリー・シアターといふ「日本でいう商業劇団」で、日本の新劇ではなく、「契約で演出家が雇われ、俳優も契約制で、今度なんかもニューヨークから何人かオーディションでとっている。出し物もシェークスピアとかオニールなんかが中心でね。そう大きな町でもないのにそんなに立派な劇場があって、そういう商業劇団が成立っているというのは、日本ではちょっと考えられないことだ」といふやうな劇団でありました。

それでは、この劇団を商業的に成立せしめてゐる側の観客の組織はどのやうになつてゐるかといふと、それは「けっきょく地元の住民組織のような形で観客が組織されているわけだ。だから、キップは予約で売り切れてしまう。住民の中に、地元の文化を維持していこうという義務観念みたいなものがあるのかな。」と安部公房は言つてゐる。これは日本にはない演劇維持の仕組みである。観客は地元の人ですから、安部公房スタジオの観客とは異質で、「ずっと年齢が高い。若い人は二、三割で、大半が中高年層。たしかに水準は高い。」

作者による此のディロン氏に対する評価は、「舞台の出来に関しても、かなりの水準だと思った。」とあり、続く段落で「芝居の舞台は完全にミルウオーキーに置きかえてやった。僕の意見でもあったし、演出家も賛成したくれ

た。」とあるので、事前に海を隔てたやりとりがあつたに違ひない。ある程度の感触を得て、さういふ意味では少しは勝手知つたる上での現地入りであつた。《明日の新聞》についてはかうである。「最後の新聞を読む場面も、ミルウオーキーのその日の新聞を使うことにした。違和感はまったくなかったし、むしろ観客にはかなりの衝撃を与えたみたいだった。演出は違っても、ほぼねらいどおりの反応を観客に与えていたし、その意味では、成功した上演だったと思う。」

此の後に続く実際に起きた老夫婦の些か夫婦喧嘩のやうなやりとりは、まるでベケットの『ゴドーを待ちながら』の台詞のやうなやりとりであつた。安部公房の言葉で再現すると次のやうになる。

おばあさん：これは面白い芝居だ
おじいさん：冗談じゃない、孤独が辛いなんていうことは先刻ご承知だ、今さらこの芝居に教えてもらう必要なんてねえんだ。（と腹を立てたりして）
おばあさん：いや、これは芝居の話であって現実のことをいってるんじゃない
おじいさん：この芝居以上に孤独の恐ろしさは身に沁みているんだ

と「際限なくいい合いをしているという風景もあった。」

「ある層が拍手すると、別なところがブーブーといって怒り出すというような調子でね。とにかく刺激的だったらしいよ。」

上演は成功でした。

これに対して、『友達』が正式な劇場らしい劇場の劇だとしたら、正反対に日本でいふなら当時花園神社などで盛んに行はれたアンダーグラウンドの演劇、通称アングラに相当する演劇があつて、日米期せずして似てゐることが面白い。場所は、「小さい、バスの発着場を改装したところで」行はれた。「わずか百二十の客席なんだけど、来ているお客が僕を入れてたった二十一人なんだ。」「でも素晴らしい舞台だった。」

この対比を、安部公房は「二つの非常に深い矛盾の間でアメリカの演劇界が動いているんだといふことがよくわかった。」と対比的に表現してゐる。これは、このまま日本の演劇界に適用可能な尺度であることを作者は意識してゐて、安部公房スタジオの舞台を日本の批評家たちが理解できないことをはっき

りと述べて、不満をいひ、批評家への非を鳴らしてゐる。日本の演劇界と批評家へのこの不満は、このあと自らが安部公房スタジオを率いてアメリカ公演をして成功を収めた後では、帰国後のエッセイに、自分の演劇が日本では理解されない悲しみとして、安部公房には感じられて、その絶望感といふことのできる感情を吐露してゐます。安部公房スタジオ通信８には「アメリカ公演を終えて」と題して、その成功の喜びを（全集第２６巻、４０１ページ）、および「近況ーまた小説はお預け」（同巻、４０８ページ）に書いてゐる。

さて、ここからが実に安部公房らしい発言が始まつてゐて、なぜこの戯曲『友達』のミルウオーキーでの成功が、「都市への回路」になるのかといふ主題に関係する発言が、ここに来るのです。安部公房がここで持ち出すのは、ユダヤ人を論じた『内なる辺境』の場合と同じく、都市と農村といふ見掛け上の二項対立なのです。さうして、農村または農業社会から「都市への回路」の形成を語るわけです。これはこのまま安部公房の文化論になつてゐます。それは此のやうな論法です。安部公房の視点は、いかなる場合でも、常に両極端を排した、二項対立否定のニュートラルの視点であることを忘れないで下さい。

一言でいへば、個別言語によつて形成される特殊文化を超えて普遍性のある論理構造を備へた戯曲が生まれれば、それは「都市への回路」として存在してゐる作品なのであるといふ安部公房のこれは若い時代からの主張である「特殊の中の普遍」論です［註１］。さうであれば、舞台が東京でなくともミルウオーキーであつても一向に構はず、また鰻丼がポークソテーか何かでも一向に構はないのだ、だから今自分のやつてゐる翻訳劇、ハロルド・ピンターの『ダムウエイター』を例に挙げて、舞台をイギリスから日本の横浜に置き、イギリス人のサッカーに関する話題を日本ならば野球に置き換へても、一向に違和感のない芝居になつてゐる。といふのが具体的な作劇上の安部公房の主張であり、実際の感想である。

［註１］
『安部公房の札幌文学への批判 』（もぐら通信第６２号）より引用して安部公房のこの論理を伝へます：

「1954年に、安部公房は、札幌文学会か らの同人誌または会誌を寄贈されて、次の 文学観を述べてゐる。 その一部を後で引用する札幌文学の編集後記に、おそらくは北海道に文学の根拠を置いた文学の是非について編集子が書き、地域性と自分たちの文学への思ひが書かれて ゐたのではないかと思はれる。それを強い調子で肯定するといふ同学会の志向について思ふところを述べた安部公房の回答は次のやうなものである。

「一、特殊性の中にほうがんされない普遍性はない。同時に 普遍性につらぬかれない特殊は存在しない。眞実はその統一の 発見にあると思う。しかし私は、地方という言葉を、風土的にと らえることは反対だ。あくまで、社会的に、地方的なものを否定するための強い批判の場所としてのその地方でありたいと思う。
二、「おれたちは、おれたちで、すきなことをやっているのだ。」というような後記の書い てある同人誌ほど馬鹿げたものはない。批判精神のない、思想のない同人誌はあってもいい が、なくてもいい。札幌文学には、期待しています。」

「特殊性の中にほうがんされない普遍性はない。同時に、普遍性につらぬかれない特殊は存 在しない」とは、内部と外部を交換し、その境界域の両義性に身を没して自己を生かす topology の考へ方です。これは、単なる言葉の意味と位相幾何学的な問題だけなのではなく、 歴史が其のやうに展開し、人間に働きかけるものだからです。 （以下略）」

鰻丼をポークソテーにするといつたことについて安部公房の語る前の言葉は次のやうなものです。農村社会に対する都市、といふよりは、「都市への回路」論です。そして、この論がそのまま安部公房の文化概念だといつてよい。確かに、三島由紀夫との文化概念とは異なり（三島由紀夫の『文化防衛論』を参照）、ここに二人の議論の場所が親しく、そして全く正反対の方向に、あつたのだと納得するのです。

「　たしかに文化というものは、その言語圏・文化圏によって非常に固有なもの、異質なものがあると思う。その異質性を異質なものとしてとらえる、つまり、異質なものを見る目を自分の中にもって、異質なものを発見するというのは、農業社会の枠の中で考えれば、たしかにそのとおりだと思うんだ。しかし、社会が都市という構造をもった時に、その枠は撤去されなければいけないと思う。今度の『友達』という芝居でも、九十九パーセントつくり変えなしにそのまま持って行って、ミルウオーキーという舞台に乗っけて違和感がないばかりか、非常にアクチュアルなものになる。一パーセントぐらいは、たしかに変更せざるを得ない。うなぎ丼食べに行くというような場合、向こうではうなぎ丼というのは非常に特殊なグロテスクなものになってしまうから、日本人のうなぎ丼の感覚に匹敵するものは何かということを考えて変える。」（全集第２６巻、２０５ページ）

このやうな彼我の「特殊の中の普遍」といふ作劇の成功を、安部公房は「都市への回路」として次のやうに述べてゐる。

「そういう置き換えをしただけで、これは完全に横浜の芝居になってしまう。

しかも登場人物は日本人。何もことさらにこれは日本人であるとか、イギリス人であるということを抜きに、一つの遍在的な現実の側面として何の違和感もなしに伝わってくる。」

さて、以上が、安部公房の演劇論、作品論、文化論としての「都市への回路」論だとすれば、ここから次に俳優論が続きます。これは既に「周辺飛行」論で其の詳細を読み込んで論じたものですが、必要に応じて既存の論考を引用しながら、安部公房を理解するために、先に進みたい。

（続く）

神奈川近代文学館
「特別展「生誕100年　ドナルド・キーン展
―日本文化へのひとすじの道」」に展示されてゐる安部公房

岩田英哉

今年令和四年六月二十三日に標記の特別展に行つて、安部公房に関係する資料を撮影して収めたので、これを余計な解説なしに、以下に並べます。一通り撮り終はつたところで、係員の女性に撮影は禁止ですといはれたのは、時既に遅し。天井を見上げると、監視カメラがついてゐた。しかし、随分のんびりした注意でしたから、まあ、いい加減に監視画面を見てゐたか、見てゐなかつたといふことでせう。無知ほど強いものはない。

純粋な眼と感性

キーン誠己

ドナルド・キーンの生誕一〇〇年を記念して展覧会が開催されることはとても喜ばしい。私は、没年の翌年（二〇二〇年）にドナルド・キーンの業績を後世に永く伝え、父が切望していた日本文学、さらに日本の学術文化の発展に寄与するためにドナルド・キーン記念財団を設立した。今回の展覧会は、財団の歴史の第一歩として捉えたい。

父の存命中には、その意思を尊重していただきながら、四回本格的な展覧会が開催された。しかし、その父はもういない。今回は、その思想と業績を後生に伝える橋渡しとして、私自身積極的に企画に関わった。

たとえば、父を日本文学へと導いた、最も尊敬していた師・アーサー・ウエーリの歳書の展示がある。元気な時はときどき手に取っていた。最晩年体調を崩しがちになっても、無意識のうちに手を伸ばして、愛情深くページをめくっている姿は、私の瞼から離れない。

また父はよく、「僕は教育者です。僕の展覧会がある時は、教え子たちのコーナーがあったらいいです」とも言い、今回はそのコーナーも設けた。弟子たちに注いだ愛情や友情を感じていただきたい。

もうひとつ、父は「僕は英語を母国語とする学者です。日本について、多くの著作を英語で書きました。キャプションなどに表記する際には、日本語だけでなく英語も併記して下さい」、と強調していた。父の遺した大切な言葉と肝に銘じたい。

戦中・戦後を通じ、死ぬまで純粋な眼と感性で日本を見つめ、日本とともに歩んだドナルド・キーンの真実の姿を、今回の展覧会によって知っていただくとともに、ドナルド・キーンそのものである著作を、ひとりでも多くの方に読んで欲しいと心から願っている。

（一般財団法人ドナルド・キーン記念財団　代表理事）

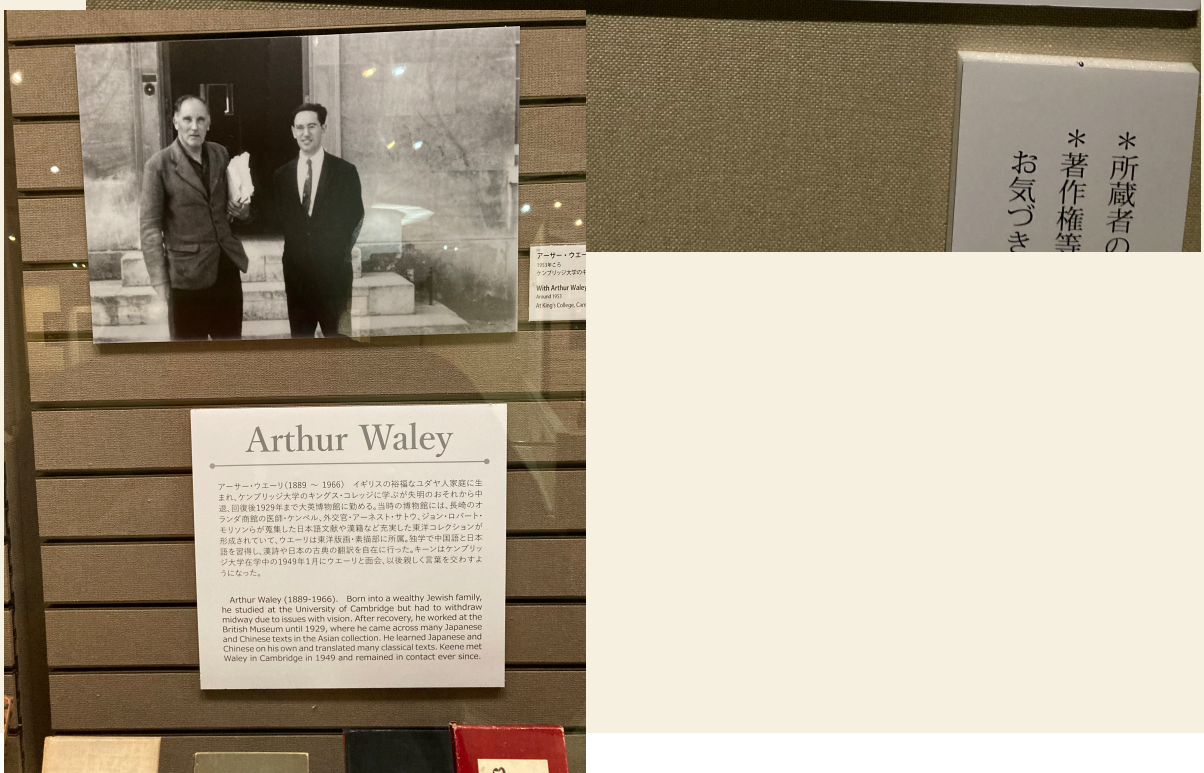
出品者・協力者

キーン誠己
上原誠一郎

ドナルド・キーン記念財団
コロンビア大学C. V. スター東亜図書館
東京都北区立中央図書館
ドナルド・キーン・センター柏崎
ブルボン吉田記念財団

安部賢治
伊藤みどり
伊藤礼
犬塚潔
江島弘志
大岡貞一
大木エリカ
長田鞆繪
角地幸男
風間忠雄
金子憲之
川原隆
観世桂男
小西由紀子
坂井千晶
島田浩孝
嶋中行雄
清水君子
神西敦子
鈴木伸幸
スティーブン・チェ
徳岡孝夫
永野成美
中村幾一
中矢庸子
西崎照明
西崎澄子
西橋健
ジャニーン・バイチマン
玄順恵
平井史朗
平野啓一郎
福田逸
藤田三男
前田良和
松川育代
眞鍋井蛙
三浦憲治
森清
森太
横山富
吉川道子
吉崎亮造
吉田暁子
バーバラ・ルーシュ
ナンシー・ロス
渡部元
渡部佳則

朝日新聞社
アフロ
アメリカ公文書館
井上企画・幡写真事務所
神奈川県立歴史博物館
川端康成記念会
雅房
ギャルリー宮脇
九州国立博物館
京都等持院
講談社
国立国会図書館
猿八座
司馬遼太郎記念財団
瀬戸内寂聴事務所
中央公論新社
東京国立博物館
Knee
日本近代文学館
日本ペンクラブ
人形浄瑠璃文楽座
能楽協会
函館市中央図書館
函館啄木会
文藝春秋
宝生会
毎日新聞社
丸善雄松堂
盛岡市文化振興事業団 石川啄木記念館
山中湖文学の森・三島由紀夫文学館
読売新聞東京本社
早稲田大学図書館
わんや書店

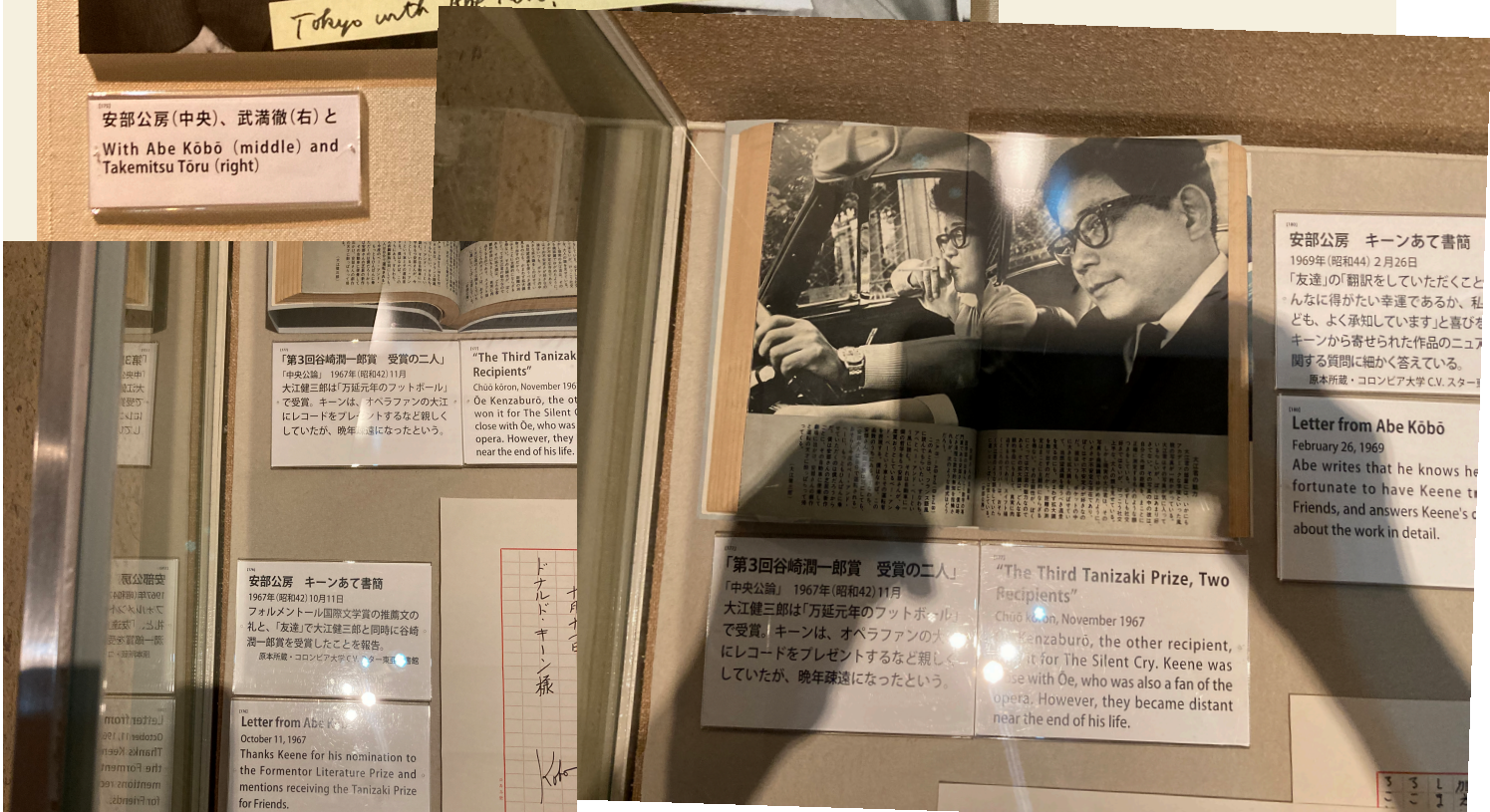


Kōbō Abe

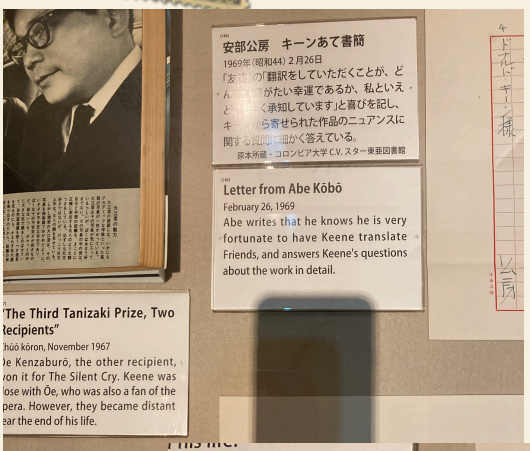
安部公房（1924～1993）　安部との出会いは、「砂の女」英語版が刊行されるにあたりニューヨーク滞在中の安部がコロンビア大学を訪問した1964年。1951年（昭和26）に芥川賞を受賞し、すでに多くの作品を発表していた安部の名前をそれまでキーンは知らなかったという。3年後大江健三郎を介して再会し、以後親密な関係が続いた。科学的知識には詳しいが外国語に弱い安部との会話はユーモアに満ちて笑いが絶えなかったと回想している。

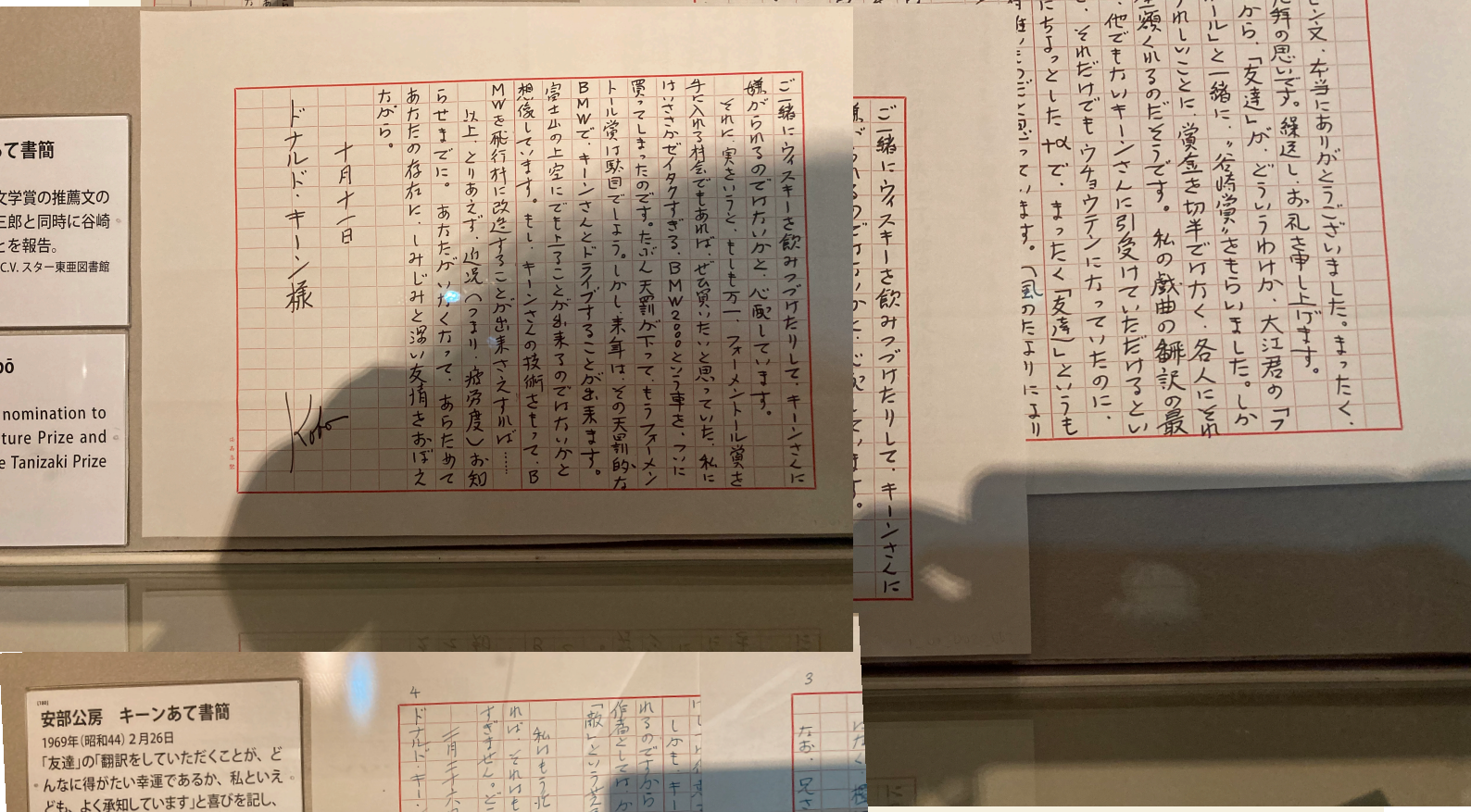
Abe Kōbō (1924-1993). Keene met Abe in 1964, when Abe visited Columbia during his stay in New York for the publication of his Women in unaware of the writer published numerous rough the introduction has reminisced that nter.

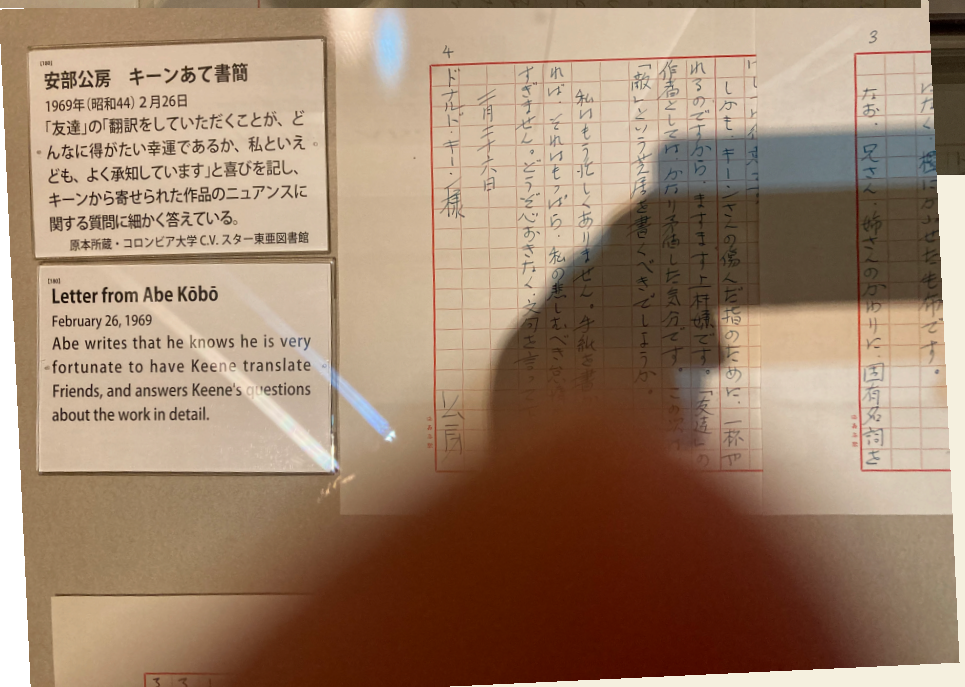
安部公房（中央）、武満徹（右）と
With Abe Kōbō (middle) and Takemitsu Tōru (right)

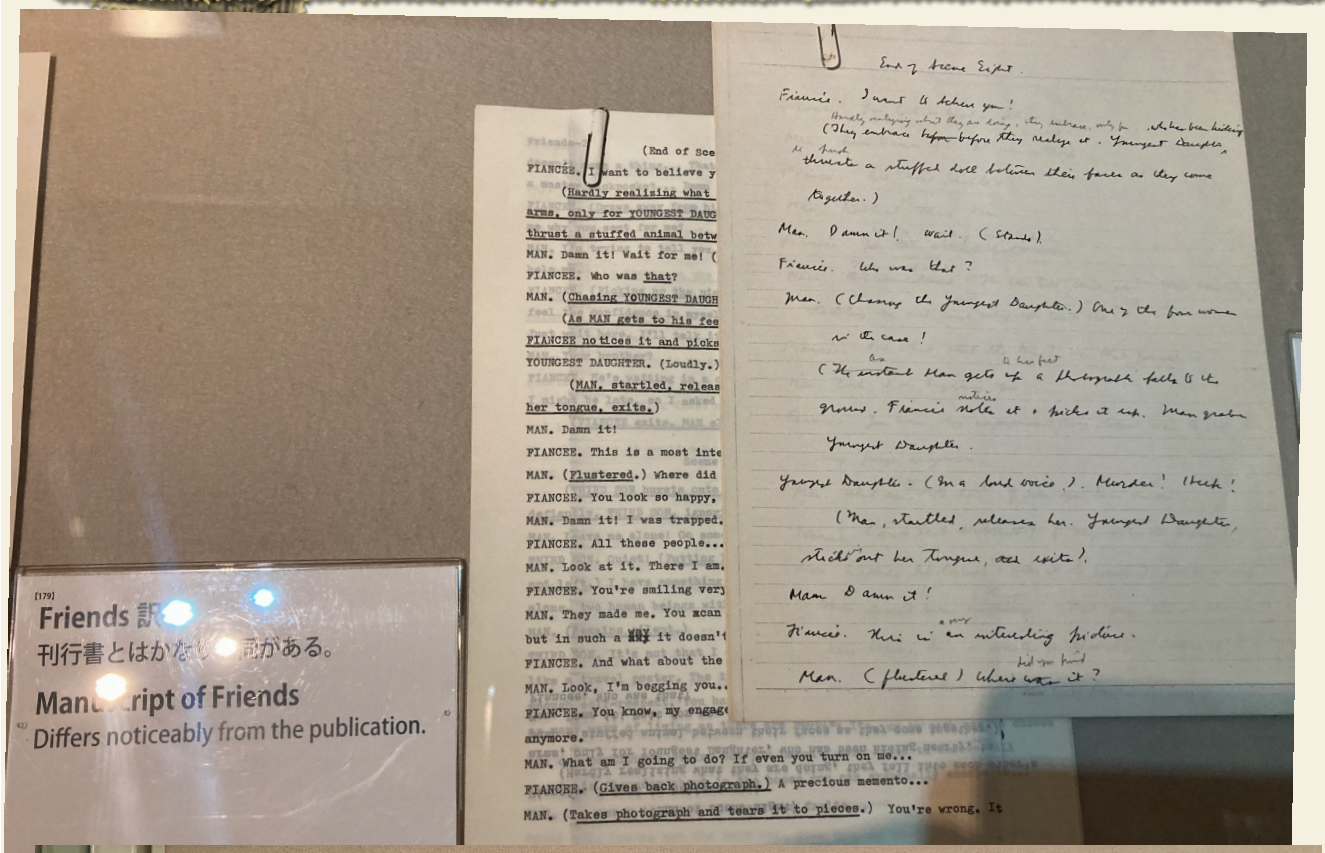


もぐら通信

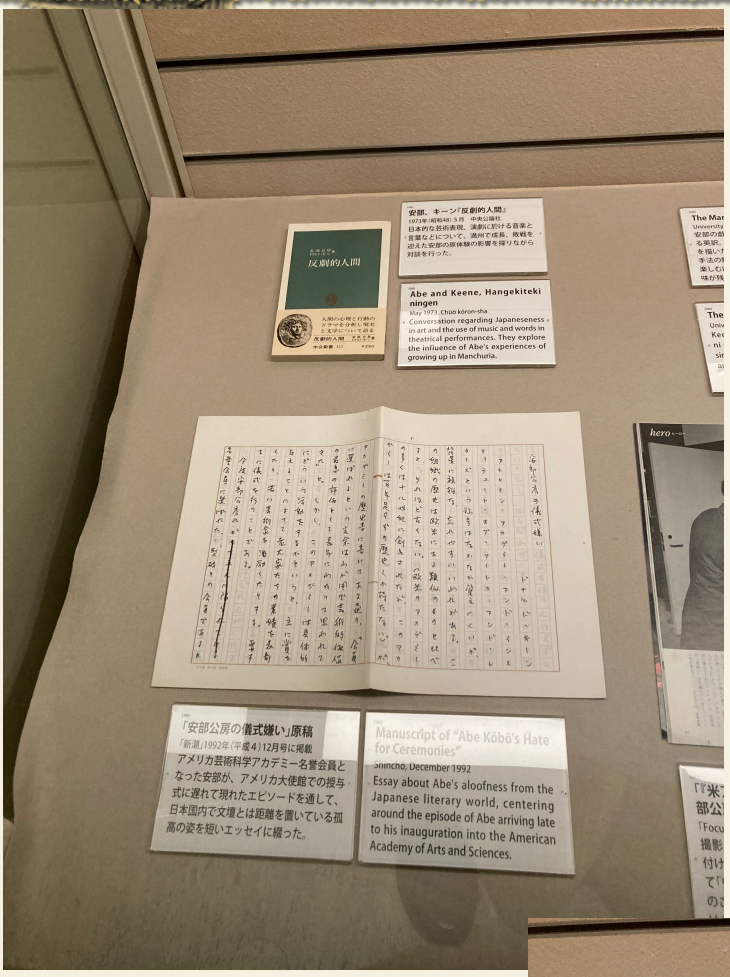

安部公房　キーンあて書簡
1969年（昭和44）2月26日
「友達」の「翻訳をしていただくことが、どんなに得がたい幸運であるか、私といえども、よく承知しています」と喜びを記し、キーンから寄せられた作品のニュアンスに関する質問に細かく答えている。
原本所蔵・コロンビア大学C.V. スター東亜図書館
Letter from Abe Kōbō
February 26, 1969
Abe writes that he knows he is very fortunate to have Keene translate Friends, and answers Keene's questions about the work in detail.
"The Third Tanizaki Prize, Two Recipients"
Chūō kōron, November 1967
Oe Kenzaburō, the other recipient, won it for The Silent Cry. Keene was close with Oe, who was also a fan of the opera. However, they became distant near the end of his life.


ご一緒にウイスキーを飲みつづけたりして、キーンさんに嫌がられるのではないかと、心配しています。
それに、実をいうと、もしも万一、フォーメントール賞を手に入れる機会でもあれば、ぜひ貰いたいと思っていた、私にはいささかゼイタクすぎる、BMW2002という車を、ついに買ってしまったのです。たぶん天罰が下って、もうフォーメントール賞は駄目でしょう。しかし、来年は、その天罰的、方BMWで、キーンさんとドライブすることが出来るのではないかと想像しています。もし、キーンさんの技術さえもってBMWを飛行機に改造することが出来さえすれば……
以上、とりあえず、近況（つまり、疲労度）お知らせまでに。あなたがいなくなって、あらためてあなたの存在に、しみじみと深い友情をおぼえながら。
十月十一日
ドナルド・キーン様
スイセン又、本当にありがとうございました。まったく、三有七幸の思いです。緑迷し、お礼を申し上げます。
それから、「友達」が、どういうわけか、大江君の「ラストボール」と一緒に、"谷崎賞"をもらいました。しかも、うれしいことに、賞金を切半でけく、各人にそれぞれ全額くれるのだそうです。私の戯曲の翻訳の最初を、他でもないキーンさんに引受けていただけるというので、それだけでもウキウキテンになっていたのに、さらにちょっとした処で、まったく「友達」というものは有難いものだと思っています。（乱筆により

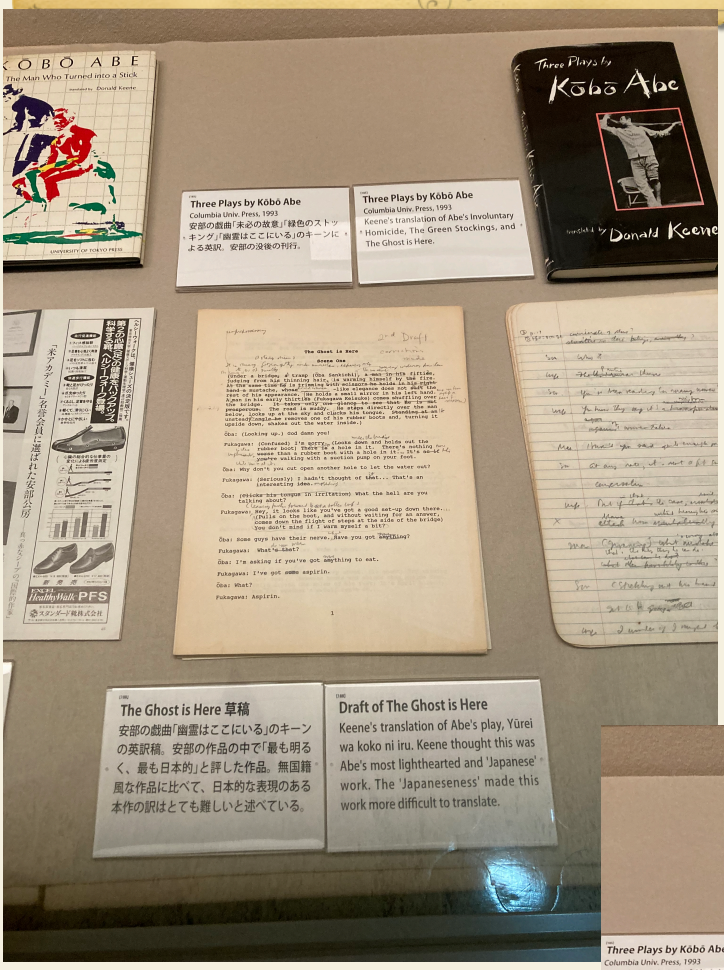

安部公房　キーンあて書簡
1969年（昭和44）2月26日
「友達」の「翻訳をしていただくことが、どんなに得がたい幸運であるか、私といえども、よく承知しています」と喜びを記し、キーンから寄せられた作品のニュアンスに関する質問に細かく答えている。
原本所蔵・コロンビア大学C.V. スター東亜図書館
Letter from Abe Kōbō
February 26, 1969
Abe writes that he knows he is very fortunate to have Keene translate Friends, and answers Keene's questions about the work in detail.
ドナルド・キーン様
十月十六日
私もう元しくありません。手紙をすればそれでもよいが、私の悲しむべきすぎません。どうぞおおさなく。
なお、兄さん・姉さんのかわりに固有名詞さ

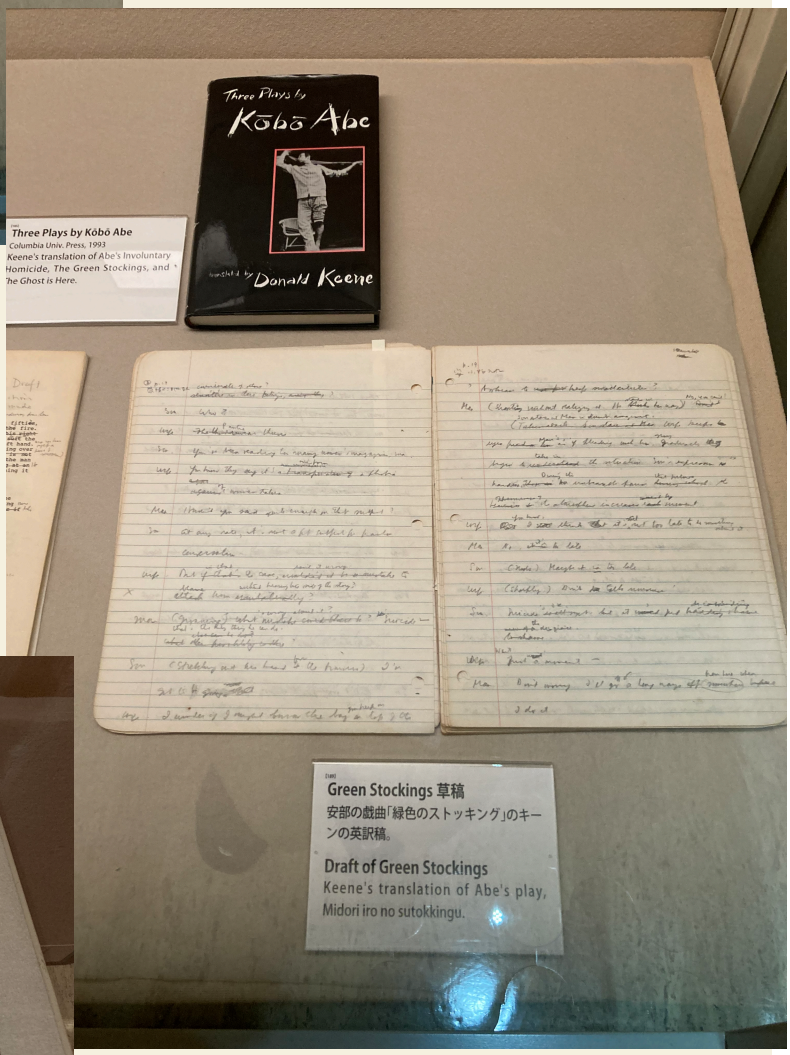

[179]
Friends
刊行書とはかな
Manuscript of Friends
Differs noticeably from the publication.
(End of Sce
FIANCEE. I want to believe y
(Hardly realizing what
arms, only for YOUNGEST DAUG
thrust a stuffed animal betw
MAN. Damn it! Wait for me! (
FIANCEE. Who was that?
MAN. (Chasing YOUNGEST DAUGH
(As MAN gets to his fee
FIANCEE notices it and picks
YOUNGEST DAUGHTER. (Loudly.)
(MAN, startled, releas
her tongue, exits.)
MAN. Damn it!
FIANCEE. This is a most inte
MAN. (Flustered.) Where did
FIANCEE. You look so happy,
MAN. Damn it! I was trapped.
FIANCEE. All these people...
MAN. Look at it. There I am.
FIANCEE. You're smiling very
MAN. They made me. You mean
but in such a
FIANCEE. And what about the
MAN. Look, I'm begging you..
FIANCEE. You know, my engag
anymore.
MAN. What am I going to do? If even you turn on me...
FIANCEE. (Gives back photograph.) A precious memento...
MAN. (Takes photograph and tears it to pieces.) You're wrong. It
End of Scene Eight.
Fiancée. I want to believe you!
(They embrace before they realize it. Youngest Daughter
thrusts a stuffed doll between their faces as they come
together.)
Man. Damn it! Wait. (Stands).
Fiancée. Who was that?
Man. (Chasing the Youngest Daughter.) One of the four women
in the case!
(The instant Man gets up, photograph falls to the
ground. Fiancée notices it, picks it up. Man grabs
Youngest Daughter.
Youngest Daughter. (In a loud voice.) Murder! Help!
(Man, startled, releases her. Youngest Daughter,
sticks out her tongue, and exits).
Man. Damn it!
Fiancée. This is an interesting picture.
Man. (flustered) Where did you find it?

ソ連人のリトグラフ
安部から贈られたもの。安部はこの作品が好きではなかった、とキーンは聞いていた。最晩年まで居間のテーブル下に入れて折々取りだして眺めていたもの。
Lithograph
Gift from Abe, kept for many years under Keene's living room table.
ACADEMIC PROCESSION
安部公房へのコロンビア大学名誉博士号授与時
1973年5月13日
" At the time of Abe Kōbō's honorary " doctorate conferment
May 13, 1973, Columbia University


安部、キーン『反劇的人間』
1973年(昭和48)5月　中央公論社
日本的な芸術表現、演劇に於ける音楽と言葉などについて、満州で成長、敗戦を迎えた安部の原体験の影響を探りながら対談を行った。
Abe and Keene, Hangekiteki ningen
May 1973, Chūō kōron-sha
Conversation regarding Japaneseness in art and the use of music and words in theatrical performances. They explore the influence of Abe's experiences of growing up in Manchuria.
反劇的人間
hero
「安部公房の儀式嫌い」原稿
「新潮」1992年(平成4)12月号に掲載
アメリカ芸術科学アカデミー名誉会員となった安部が、アメリカ大使館での授与式に遅れて現れたエピソードを通して、日本国内で文壇とは距離を置いている孤高の姿を短いエッセイに綴った。
Manuscript of "Abe Kōbō's Hate for Ceremonies"
Shinchō, December 1992
Essay about Abe's aloofness from the Japanese literary world, centering around the episode of Abe arriving late to his inauguration into the American Academy of Arts and Sciences.

安部、キーン『反劇的人間』
1973年(昭和48)5月　中央公論社
日本的な芸術表現、演劇に於ける音楽と言葉などについて、満州で成長、敗戦を迎えた安部の原体験の影響を探りながら対談を行った。
Abe and Keene, Hangekiteki ningen
May 1973, Chūō kōron-sha
Conversation regarding Japaneseness in art and the use of music and words in theatrical performances. They explore the influence of Abe's experiences of growing up in Manchuria.
The Man Who Turned into a Stick
University of Tokyo Press, 1975
安部の戯曲「棒になった男」のキーンによる英訳。現代社会における人間の疎外感を描いた。キーンは能「松風」との芸術的手法の類似性を指摘。「初めから終りまで楽しむばかりでなく、終ってもみごとな後味が残る」と上手な象徴芸術と評している。
The Man Who Turned into a Stick
University of Tokyo Press, 1975
Keene's translation of Abe's play, Bō ni natta otoko. Keene pointed out its similarities to the Noh play, Matsukaze, and praised its skillful symbolism.
KŌBŌ ABE
The Man Who Turned into a Stick
translated by Donald Keene
UNIVERSITY OF TOKYO PRESS
hero
「米アカデミー」名誉会員に選ばれた安部公房
「Focus」1992年(平成4)9月25日
撮影・安部光雄　安部にアカデミーのバッジを付けようとして失敗するこの写真の瞬間について「安部公房の儀式嫌い」の中で触れている。このころ安部からガンを患っていることを打ち明けられていた。安部はこの4ヵ月後に死去。
Abe Kōbō becomes honorary member of the American Academy
Focus, September 25, 1992
Keene mentions this moment when the attempt to attach the Academy badge failed in "Abe Kōbō's Hate for Ceremonies."


KOBO ABE
The Man Who Turned into a Stick
translated by Donald Keene
UNIVERSITY OF TOKYO PRESS
Three Plays by Kōbō Abe
translated by Donald Keene
Three Plays by Kōbō Abe
Columbia Univ. Press, 1993
安部の戯曲「未必の故意」「緑色のストッキング」「幽霊はここにいる」のキーンによる英訳。安部の没後の刊行。
Three Plays by Kōbō Abe
Columbia Univ. Press, 1993
Keene's translation of Abe's Involuntary Homicide, The Green Stockings, and The Ghost is Here.
The Ghost is Here 草稿
安部の戯曲「幽霊はここにいる」のキーンの英訳稿。安部の作品の中で「最も明るく、最も日本的」と評した作品。無国籍風な作品に比べて、日本的な表現のある本作の訳はとても難しいと述べている。
Draft of The Ghost is Here
Keene's translation of Abe's play, Yūrei wa koko ni iru. Keene thought this was Abe's most lighthearted and 'Japanese' work. The 'Japaneseness' made this work more difficult to translate.


Three Plays by Kōbō Abe
translated by Donald Keene
Three Plays by Kōbō Abe
Columbia Univ. Press, 1993
Keene's translation of Abe's Involuntary Homicide, The Green Stockings, and The Ghost is Here.
Green Stockings 草稿
安部の戯曲「緑色のストッキング」のキーンの英訳稿。
Draft of Green Stockings
Keene's translation of Abe's play, Midori iro no sutokkingu.

親交のあった作家たちの評伝随筆、作家論
『日本の作家』
1972年(昭和47)2月　中央公論社
金関寿夫訳『声の残り』
1992年(平成4)12月　朝日新聞社
松宮史朗訳『思い出の作家たち』
2005年(平成17)11月　新潮社
Books on acquainted writers
Nihon no sakka (Japanese writers)
1972, Chūō kōron-sha
Koe no nokori (Remaining voices)
Kanaseki Hisao trans. 1992, Asahi shimbun-sha
Omoide no sakka tachi (Five Modern Japanese Novelists)
Matsuyama Shirō trans. 2005, Shinchō-sha
ドナルド・キーン
日本の作家
ドナルド・キーン
声の残り
・私の文壇交遊録・
私の出会った日本の作家たち
思い出の作家たち
谷崎・川端・三島・安部・司馬
ドナルド・キーン
日本文学の天空を鮮烈によぎった、あの五つの巨星は、今もなお、私の心のなかに、生きているのだ。

ＳＦで思考するための本棚
（7）
古事記SF論（２）

岩田英哉

次号を待たれたい

サンチョ・パンサを求めて

（２２）

語学ができるとはどういふことか２

語学の天才とはどういふ人間か

岩田英哉

『真鍋ドイツ語の世界ードイツ語の語法ー』（三修社。１９８１年３月第６版発行。初版１９７２年）より、英語学の斉藤秀三郎とドイツ語学の関口存男といふ二人の語学の天才についてお話しします。同書の「二大語学者ー関口先生と斉藤先生ー」（２５ページ）より引用してお伝へしたい。

「先日ふとしたことから、指おり数えてみましたら、関口存男先生が亡くなられてから今年は（「今年」というのは１９６７年のことです）１０年目にあたっているので、早いものだなと思ったことでした。昭和３３年７月２５日午前５時４５分のご逝去ですから、満１０年は来年の７月ですが、とにかく時の歩みは１０年目にさしかかっているわけです。

理屈ぬきで、とにかく偉い先生でした。私は語学で偉い先生というといつも関口先生とともに、英語の斎藤秀三郎先生を思い出します。この両先生には実によく似たところがあると思うのです。斎藤先生の名著 Practical English Grammar は斎藤実用英文文典の名で一世を風靡し、その後の英語界に大きな影響を与えました。またこの文法書は英文で書かれているので——私の記憶に誤りがなければ——アメリカのハーバード大学の英語英文学部で教科書として使われたはずです。その斎藤先生は死ぬまで、外国へ行っておりません。日本で勉強した大英語学者です。

関口先生も、例の「新ドイツ語文法教程」（昭和７年初版）を三省堂から出され、日本のドイツ語界に旋風をまきおこし、日本のドイツ語界の行く道に大きな転換と指針を与えましたが、やはりドイツへはもちろん、国外には一歩も出ておられません。やはり日本で勉強された大ドイツ語学者です。

関口先生は亡くなられた時は６３歳、斎藤先生も昭和４年１１月１３日午前１時、満６３歳１０ヶ月でした。関口先生は畢生の大著「冠詞」の第３巻を執筆中——先生は夜中に起きて明け方まで執筆されていたのですが——もう少しのところで完成を見ずに倒れました。斎藤先生が執筆中の「英和大辞典」もついに未完のままに終わりました。

お２人とも、他の人のよくなし能はない大研究をされながら、世に出た数多くの著作は、誰の手も借りず全部自分の手になったものばかりです。関口先生の「冠詞」ももちろんそうですが、斎藤先生の「熟語本位英和中辞典」も「徹頭徹尾秀三郎一人の手によって起草せられ校正せられ、意匠せられた独自の産物である」と「斎藤秀三郎伝、その生涯と業績」（吾妻書房）に記してあります。「関

口存男の生涯と業績」（三修社）と本の題名まで似ています。

似ているというのは、必ずしもこんな外面的のことだけではありません。

ドイツ語なり英語なりに対する語学的の突っこみ方、言語に対する「対決」の仕方にも、やはり相通じるものがあります。斎藤先生は、That's it　について、主語は it　であるとして、「主格は it なり」と明言し——大正４、５年の頃ですが——英語界に論争を巻き起こしています。この点関口先生の「新ドイツ語文法教程」の「es の用法」のところ［註：es は英語の it に相当する］、「述語としての es (2)」の項で、「es がほとんど主語と化すことがある」と説明し、その項の［２］に主語化するにいたつたものとして、”Wer klopft?” “Es ist ein müder Wandrer.” (Od. Ein müder Wandrer ist's” を例としてあげておられます。［註：”Who knocks on the door?” “It is a tired traveller”または”A tired traveller is it”］ ——外国で出た文法書などにいきなり頼らずに、自分でじーっと英独の文をにらんで、また取り組んでいると、こういう結果が出てくるのですね。私などにも、この両先生の主張が十分にわかるように思います。

斎藤和英大辞典の序文には “In short, the English of the Japanese must, in a certain sense, be Japanized.”
「要するに、日本人の英語は、ある意味において、日本化さるべきである」という大胆な発言があります。これは関口先生もいっておられます。「ドイツ人に言えない書けない日本人のドイツ語ができなくてはならない」と。これは私が先生から直接きいた言葉です。

これは斎藤先生も in a certain sense といっておられますが、誤解を生じるおそれがありますから、説明しておきましょう。

たとえば「君子危うきに近よらず」を独訳せよといわれたなら——もし Wasser hat keine Balken.［註］ということわざを知っている人なら、Wasser hat keine Balken. といって得意にならぬまでも、満足するでしょう（独和をひいてごらんなさい「君子危うきに近よらず」という訳がついているはずです）。

［註］
水には梁がない、流れる水には突っ張り棒のやうな確たるものがない、といふ意味。水辺には近寄るなと解することもできる。このドイツ語の諺でGoogleの画像検索をすると次のやうな写真が出てくる。これがドイツ語の「君子危うきに近よらず」のイメージです。ドイツ語になくて日本語の方にあるイメージは君子であつて、何か徳を積んだ人はといふ意味はドイツ語にはないのです。この日本語の成句の持つ意味と語感はこの後の関口存男訳で十分に語られてゐます。

——さあ、そこなのです。関口先生の「独作文教程」（三修社）には “Der Weise weiß alles Schlüpfrige zu meiden.” ［註：賢者は滑り易いものはみな避けることができる］あるいは “Der Weise begibt sich nie auf einen abschüssigen Pfad.”［註：賢者は傾斜のある径（みち）には近づかない］と訳すように、単語を与えてあります。このほうがずっと日本人なり東洋人固有の気分に近いのです。表現としても東洋的です。Wasser hat keine Balken. では、日本人と同じ気持ちで「君子危うきに…」ということわざを感じとることは、ドイツ人には決してできないわけですね。日本のこと、日本人のこと、日本式の考え方、感じ、情操などを、その辺にありあわせのドイツ語で言いかえたりしたのでは、不十分ですし、誤解も生じます。ドイツ語なり英語なりに熟達した上は、日本人にしかわからないと考えられていることも、日本式表現でドイツ人や英米人に理解させる程度に、外国語があやつれなくてはだめだ、ということを言っているのです。もし、そういう独文なり英文なりが外国人にわかってもらえなかったら、それはこちらの語学力不足ではなくて、外国人のほうに罪があるんです。

関口先生の名訳は折にふれときどき紹介しました。その点も斎藤先生と共通点があります。しかしそういううまい訳をするのにも粒粒辛苦のあとづけがあるので、言葉に徹し、あくまで食いついて離さぬ努力の結晶なのです。斎藤先生の

I appeal from Philip drunk to Philip sober.
醒めての上のご分別。
Impotent rage　ごまめの歯ぎしり。

など、私は実に名訳だとおもうのですが、関口先生の

Mensch, wehr’ dich deines Lebens!
さあ、尋常に勝負しろ。

なども——実はこの句は私が「さあ、剣をとってわが身を守れ」としたのを、先生に直されたのですが、ほんとうに「マイッタ」と思ったことでした。

両先生とも和文英（独）訳にかけても達人でした。いまちょっと日本文を忘れましたが、かつて私の友達が Mein Deutsch ［註：ドイツ語の専門月刊誌の名前］の前身の「月刊ドイツ語講座」かに出ていた独訳をもって来て、「おい、関口っていうやつは、こんな短い文章を２４通りに訳しているぞ、スゴイ奴だな」といっていたことがありますが、斎藤先生も「彼のいう事はさっぱりわからぬ」というのを１４、５通りに訳しています。「独作文教程」にも「二二が四でなかったら大変だ」に対し１０通りの訳文が出ております。

要するに、私のいいたいことは、この二大先生のように、自分で語学にとりく

むこと、それを皆さんにおすすめし、自分のいましめにもしたいという点にあるのです。やはり私が「エライ」と思うドイツの名通訳 Paul Schmidt（パウル・シュミット）さんも「外国に行けば、自動的にその国の言葉がうまくなるなどと思ったら、とんでもない間違いだ。自分の絶えざる勉強、苦心の仕上げをしに行くところ、自分の研究、労苦の成果をためしに行くところ、それが外国だ」といっております。ヨーロッパと東洋では地理的その他の条件がちがうなどと思わないように。日本人で世界をあっと言わせた「前置詞大完」１３巻を書いて、ノーベル賞候補にあげられた斎藤秀三郎先生、これまた世界の何人もなし得ない大研究「冠詞」３巻をものした関口存男先生――これも先生が生きておられて完成していたらノーベル賞ものだと思いますが――２人とも日本だけで日本をはなれずに、勉強されたのです。
（備考：斎藤先生については、さきにあげた「斎藤秀三郎伝」（吾妻書房）をぜひお読みなさい。語学とは何か、いかに努力し、どれほど勉強すべきものかがはっきりわかります。関口先生の「関口存男の生涯と業績」は三修社から出ております。）

［註］
この筆者、といふよりは此の文法書の著者、真鍋良一博士は京都帝国大学言語学科を出られて、ライプツィッヒ大学へ留学、帰国後当時の大日本帝国の外務省の通訳官を務められました。私のドイツ語とビールと人生の師です。近衛文麿の通訳も務められ、あるとき私と一緒にゐる時にふと、近衛さんは品があつたな。と遠くを見るやうな目をして一人ごちた言葉と其の顔の表情は忘れることができません。代々木駅の駅頭でした。大東亜戦争時には上海領事館で三等書記官でゐらして、日本の当時の外交官の常で、ロシアから亡命中のユダヤ人の家族とシベリア鉄道で一緒になり、この家族の申請に応じてアメリカ亡命のためのヴィザを発給してをります。この車中に真鍋先生とチェスをしたユダヤ人の子供は無事アメリカで成長しある大学の教授になつてから、Ryoichi Manabeを日本に探して、あるジャーナリストの方の力を得て、最晩年の真鍋良一博士に再会する逸話は何ものにもかへがたい実話です。このユダヤ人の教授があるとき授業で教壇に立ち、ことの次第を生徒たちに話して、だから今日の午後日本に発つので今日の講義は休講にしたいと述べて日本に急いだ。このことをまとめて、また此のユダヤ人の教授の書かれた英語の文章の既にある和訳を以下に転載しましたので、お読みくださるとありがたい。

「真鍋先生」：
https://word-eyes.blogspot.com/2015/01/blog-post.html

私の本棚

（４６）

宝島社『６０歳すぎたらやめて幸せになれる１００のこと』を読む

岩田英哉

この本は俗にいふムック本で、今もAmazonの棚に並んでゐます。税込で６９０円。

私が近所のコンビニエンス・ストアに行った時に入り口直ぐ横にある雑誌類の棚の中に大判の此の雑誌の表紙が中尾ミエさんといふ歌手で、子供の頃には既に10代の後半にあつて立派な歌手としてTVのブラウン管の中で主に１９５０年代のアメリカン・ポップスを日本語で歌つて活躍して有名人でした。その後もネットなどで４０代以降の歌ひ振りも拝見すると、やはり歌はうまく、伊東ゆかりやザ・ピーナッツなどとの音楽番組のショーは、やはりショーといふカタカナ語も日本語になつたと思ふほどのいい出来栄えでした。なんとなくいつもどこかで何かの拍子に気になる女性歌手だったので、その特集の見出しのこともあつて、思はず手にとり、買つてしまつた次第です。

もちろん、これは女性の６０代以上の人のためのムック本ですが、内容は男のためとおもつて読んでも異な和感はありません。

私も５０代に入ると大体、高校時代の同窓生や同級生に、この間同窓会であんなに元気であつたのに数ヶ月後に亡くなったといふ知らせが、ぼつぼつと来始めましたから、５０代以降はいつ死んでもおかしくないといふつもりで生きて

来ました。６０代の今は尚更です。

さうして、還暦といはれる６０歳になつた時に、ここから死ぬまでの２３年間をどういふ方針、どういふ心掛けで生きるか又は死ぬかといふことを考へてー私の１６歳の人生の計画では８３歳で「没する」ことになるてゐるー、次の４文字で生きること、又は死ぬことを方針とし同時に心がけとしました。中尾ミエさんは同じことを「６０歳の頃に環境をリセットしてみた」と表現してゐます。私の「リセット」は次、分解すると次の四文字になりました。

緩・小・質・美

この四文字です。緩はゆるやかにといふ意味、急がないでといふ意味です。会社勤めをして仕事をすることは忙しいのでその逆を心がける。小さいは少ないでもよく、実質的には意味は同じです。会社勤めをしてゐたときは、食事も何も仕事が忙しいので腹も減つて量を多く考へる傾向があつたのを小さくし少なくとして、従ひ次には、量よりも質を最優先にしようと此処まで考へて来て、やはりどうしてもこれがなければ私は生きて行けないといふものが、最後に置いた美しさ、美、美しいものでした。

この美しさといふものは、会社勤めといふ経済的行為をしてゐて、折に触れて考へて至った結論、すなはち人は何故仕事をするのか？といふ問に対する私の答へでした。人間の金儲けといふと身も蓋もない経済的行為の根底にあるのは、実は美への憧れであり、知りたいといふ憧憬のエロスであるといふのが私の周囲の誰にも口に出したことのない結論でしたので、大体、こんな話をすると馬鹿にされるか、否定されるかなので、否、そもそも理解されないので、余計なことの種を蒔くことは控へてゐましたが、言語に徹して生きて来た人間としては、やはり当然行き着くべき答へであつたと今書きながら思ひます。

さて、中尾エミさんは今年で７５歳とのこと。私が６歳か７歳の時で、１５歳からの芸能生活といふことですから、早熟な歌手であつたといふことになります。７０代の半ばでこの女性の立てた基準は「やめる」と「捨てる」ですから、無理をせずにこれを実行すると「こんなに楽になつた」といふ謳ひ文句、いや、今も本業は役者の傍らに歌手ですから、歌ひ文句と言ふべきかも知れません。

といふことで１００の項目を列挙してあるのですが、その一次分類は次の通り９項目です。

１。付き合ひ
２。健康
３。家族
４。お金
５。暮らし
６。見栄
７。家事
８。台所仕事
９。準備（これは死の、葬儀の準備のこと）

男の私に今、関係のある項目は、

２。健康
４。お金
５。暮らし
７。家事
８。台所仕事
９。準備（これは死の、葬儀の準備のこと）

以上の６項目といふことになりました。

さて、これを更に自分に当て嵌めると、鹿嶋といふ田舎に暮らし始めてからは、健康は全く問題なく、薬も不要になり、これも削除、お金も質素な暮らしをしてゐるので、これも削除、暮らしは田舎暮らしなのでこれも削除、家事とは家の中の掃除と洗濯と庭の草刈り打鍵なので、これも削除、台所仕事もこれも男料理で一人分ですから何も難しいことなく生きてゐられれば良いので美味い米と井戸水で私は十分である。となると、あとは死ぬ準備だけが残ります。

近所に葬儀屋と火葬場があるので、近々調べてみようとおもつてゐます。本当によい住環境です。あと、常陸国出雲大社に神道の墓地があり、また樹木葬といふものがありますが、これも調べも兼ねていづれお参りするつもりです。

上記に列挙した一次分類の最初の付き合ひの副題は、人生の終盤は本心に従う、お付き合ひの棚卸し、といふ二項ですが、これもこの通りで、私はもはや年賀状のやりとりはなく、７年ほどかけて賀状は来なくなるやうに計らひました。此の工夫は、こちらからの発信をやめて、きた賀状にだけ応答するやうにしたら７年目で賀状が来なくなり、親族も含めて自然にお付き合ひもなくなった次第です。友人の一人は賀状に此の年齢になつたので来年から賀状は出さな

いといふ賀状が来て、それからは無音です。これは大変清々しいもので、心に残り、何かの折に此の友を思ひ出しては健康と安寧を祈つてゐます。

このムック本の表紙に挙げられてゐる主要な項目は次のやうなものです。これらの一つにもし引っ掛かるものがあれば、あなたの年齢に拘らず、男女であるか否かによらず、お読みになることを薦めます。

冠婚葬祭は失礼する
人間ドックには行かない
リフォーム、引越しはしない
老人ホームに入ろうとは考えない
子ども、孫、兄弟と距離を取る
子どもに財産を残さない
お墓を手放す、仏壇を処分する
人と比べて生きない

人と同じことをしないといふ原則に従つて生きて来たので、私は最後にある人と比べて生きないといふのが日常でしたから、以下それ以前のこれらの問題もみな合格で、残るは、お墓を手放す、仏壇を処分するだけです。

あとは自分自身のことだけが残ったといふことでせう。しかし、我が身のことが一番難しいといふのは、これは年来の課題であり、結局死ぬまで我が身とつき合ふ以外にはないのでありませう。これが本当の処世といふことで、社交辞令とも社交術の洗練とも無関係にゐても、またそれらの技術を磨いても結局、自分自身の身がいつも思ふやうにならない。だから、禅のお坊さんは毎日坐禅を組んで動かぬ修業を積むのではなからうかと思ふのである。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。まあ、これは浄土真宗の呪文であるが、さて、お墓を手放す、仏壇を処分することをどうしたものか。考へてみれば、坊さんといふ仕事は、生命保険業によく似てゐて、死者を担保に御布施といふ保険料をとつてゐる。

親鸞聖人の言葉を記録した唯円の嘆異抄には、お布施をとるな、教団を作るなと書いてあつたが、これは、坊主が生命保険の仕組みと保険料を当てにしてはならぬといふ、一言でいふと、人の生き死にとお金と社会の関係を重々見抜いた上での遺言であつたと知られるのです。私はこの親鸞聖人の言葉を引いて、イエス・キリストといふ、これも日本流にいへば御聖人さまの言葉をおもふのである。それは、ローマ帝国の徴税吏のお金に関する奸智の問に答へて言つた、カエサル（皇帝）のものはカエサルへ、神のものは神へ返しなさい、といふ「新約聖書―マタイ伝・二二」にあるイエス・キリストの教へです。お釈迦様が保険料をもらつて、蓮の葉の上で、果たしてニコニコしてゐるであらうか。

遁走倶楽部

（２）

エピチャム語から本邦初の翻訳

作者　S・カルマ氏

翻訳　岩田英哉

目次

01_デアンダール岩の祝祭
02_カフェ・セラピオンの読書会
03_町の地図（或いは幕の内弁当に関する考察）
04_虚体祭
05_堂宇の殺人
06_コギト革命
07_ほとさらい
08_黄金の時代精神亭での酩酊
09_書記の部屋

＊＊＊

第５章　堂宇の殺人

（待て次号）

日本一極国家論（続篇）
GAME CHANGE理論
（７）

岩田英哉

目次

１。前編
２。後編
３。GAME CHANGE理論
（１）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
（２）古いゲーム・ルール２：アメリカのゲーム・ルール：一般論
①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コカコーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジット・カード、ディズニーランド等々）
②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

新ゲーム・ルール
対アメリカ帝国：
（１）新ゲーム・ルール１（アメリカ帝国向け）：一般論
（２）新ゲーム・ルール１.１（アメリカ帝国向け）：個別論
①文化領域
②政治領域
③経済領域

対中華帝国：
（３）新ゲーム・ルール２（中華帝国向け）：一般論
①支那とは何か中国とは何か
②中国の経済の構造
③中国の政治の構造
（４）新ゲーム・ルール２.１（中華帝国向け）：個別論

対ロシア帝国：
（５）新ゲーム・ルール３（ロシア帝国むけ）：一般論
（６）新ゲーム・ルール３.１（ロシア帝国むけ）：個別論

４。GAME CHANGE理論（日本篇）
４.１.１　国民にとつて理想の政府とは何か
４.１.２　現行日本国憲法無効化論
Intermezzo：文明の衝突篇.：ハンチントン著『文明の衝突』からウクライナ問題を考察する
４.１.３　戦争空間領域分類論
４.１.４　日本国家軍事費用計算論
４.１.５　日本国家核ミサイル保有論
４.１.６　北朝鮮拉致被害者奪還論
４.１.７　日本駐留米軍退散論
４.１.８　日本中央銀行廃止論
４.１.９　尖閣諸島問題解決論
４.１.１０　竹島及び北方領土奪還論
４.１.１１　国体明象論（国体明徴論ではない）

［対ロシア帝国］の中身は2022/0312現在未定］

4.1.4　戦争空間領域分類論

下記の表の通りの用語の定義と分類とします。これは後で、日本国家軍事費用計算論のところで役立つ筈です。

2022/07/15
eiya iwata

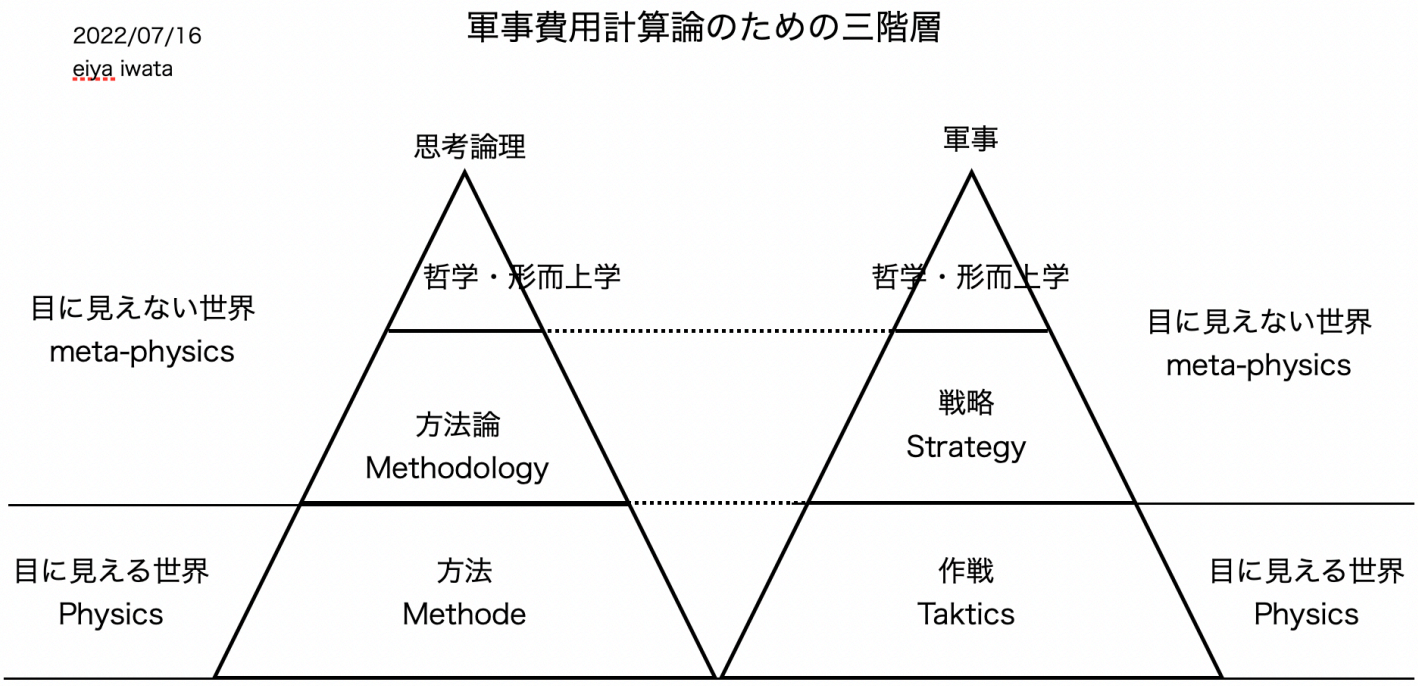
戦争空間領域分類

	用語	定義	補助的説明	次元
1	宇宙空間	成層圏以上太陽系の内外の空間	宇宙の定義は他にもあると思ふので、この定義しだいで下位の階層の用語の定義を変へてもよい。	3次元
2	地面上空間	成層圏までの空間		3次元
3	地面空間	地面自体である面空間		
4	地面下空間			
5	海面上空間	海面の上方空間		3次元
6	海面空間	海面自体である面空間		2次元
7	海面下空間	海面の下から海底面までの空間	定義の方向が6と正反対	3次元
8	海底面上空間	海底面から上の海面までの空間	定義の方向が5と正反対	3次元
9	海底面空間	海底面自体である面空間		2次元
10	海底面下空間	海底面から下の地層空間		3次元

4.1.5　日本国家軍事費用計算論

この計算論の大前提は、国家戦略のあることである。この国家戦略とは、外交の延長の最大限に外交の一部としてある戦争に関する方法論のことです。従ひ、方法論である以上、その上には哲学があるので、下記の通りの階層を、この計算論の構造は、なしてゐる。

2022/07/16
eiya iwata



上記ふたつの階層の一番上の階層にある「哲学・形而上学」は国により民族により異なります。我が国の場合は、明らかに古事記といふ民族の三つの原典のうちの一つが此れに当たります［註１］。

［註１］
他の二つは、いふまでもなく、日本書紀と万葉集です。

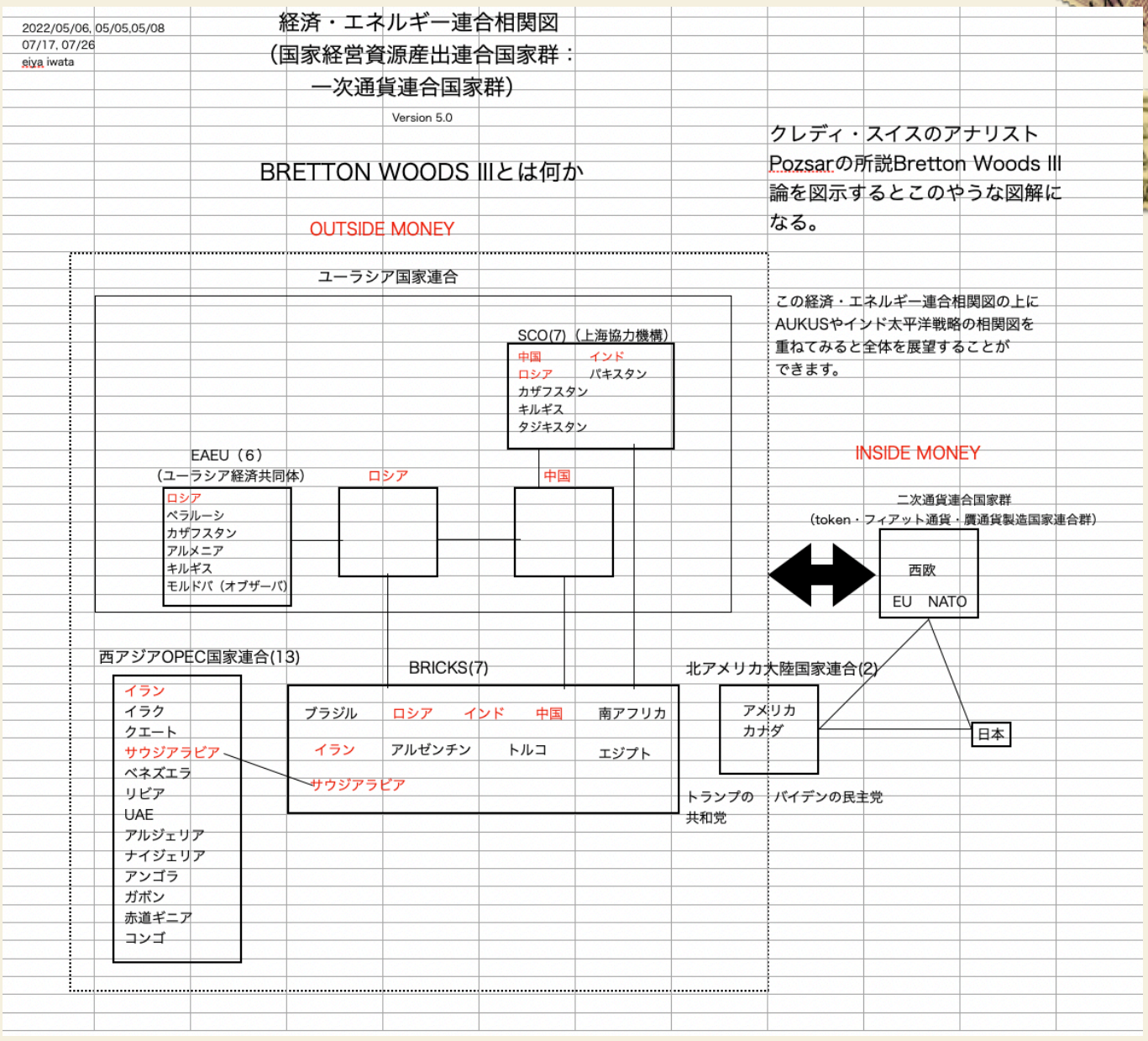
4.1.4　日本国家核ミサイル保有論

（続く）

ネット・モナド論
（３２）
プーチンは何を考へてゐるか４
Bretton Woods III

岩田英哉

２０２４年２月２４日にロシアがウクライナに限定的な特別攻撃を仕掛けてから国際世界に起きた政治と経済上の天変地異は、これまでのほぼ五ヶ月を経て、次のやうな政治・経済世界地図の変化を大きくもたらしたので、その全体像を「Bretton Woods III世界地図」と呼ぶことにして、掲示したい。この地図は、今もこれからもネットや地上に流通する情報の真偽・真贋を、あなたが自分の眼と頭と心で吟味し採否を決定するのに役に立つ筈です。これが、私の結論です。



この地図のダウンロードは：shorturl.at/elmVZ

この「Bretton Woods III世界地図」の意味するところは次の通りです。

１。ドルの一極世界支配は終はつた。従ひ、
２。ダボスの世界統一政府の樹立のために唱へたthe Great Resetも目的を果たさず、果たさぬどころか、ブーメラン効果（boomerang effectと英語圏ではいつてゐる）によつて逆効果としてthe Great Restのために仕掛けた策略が働き、世界各国政権に巣食つてゐるグローバリストと政府の掲げるグローバリズム政策に対する厳しい国民による批判に晒されてゐる（例：CO2削減、太陽光発電などの再生可能エネルギー、EV車、コロナ・ヴィルスの蔓延を悪用した政府による自由の束縛と全体的統制、etc）。
３。西側による対ロシア経済制裁が原因でロシアとウクライナからの小麦と天然ガスと石油の輸出が止まつたので、次のことが起きてゐる。

（１）食糧不足
（２）エネルギー不足

この二つの原因による、

（３）運送費用（船輸送も含み）の高騰
（４）各国での猛烈なインフレーション（物価高）
（５）ドイツの例をとると、産業と民間電力消費の強制的な抑制（今ままで解決策がなければヨーロッパの今年の冬には体力のないお年寄りが朝起きてみたら凍死してゐるといふ事件（事故ではない）が多発します。時の政権は自壊。

４。西欧とアメリカの離間と背反。何故なら、EU・NATOの利益とアメリカの利益（グローバリズムによる国家破壊）は相反するからである。従ひ、

５。西欧の急速なる没落。そして同時に、
６。アメリカの、トランプの共和党がこの秋に勝利し、またトランプが大統領に再選されるまでの間は少なくとも、急速なる政治的指導力の衰弱および経済力の対外と国内での低下。アメリカもインフレーションに苦しんでゐる。

これらのことの原因は、グローバリズムと称される政策を（例：上記２の例示）採用した結果各国で起きたものである。日本も同様の状況にある。私たちの問題解決策は、グローバリズムによるダボスの政策の廃棄であり、もう既に立法l化さfれてゐるならば其の法律の廃止である。

７。この旧来の西欧・米のグローバリズム勢力被支配国家と、これに反対するプーチンのロシアを代表とする反グローバリズム勢力の対立を、世に人のいふ通りに第三次世界大戦と呼ぶならば、この対立軸は、この「Bretton Woods III世

界地図」によつて次の通りである。

（１）the OLD united nations（旧来の西欧・米のグローバリズム勢力被支配国家）OUNと略号する。
（２）the NEW united nations（ロシアを主軸にした金銀と石油や天然ガスのエネルギー産出国および食糧輸出国の集まり。国家主権尊重のナショナリズム勢力国家連合）NUNと略号する。

このやうに二つの勢力が併立し、また後者が前者がもはや優位にあるので、今のBretton Woods I及びIIの上に乗つてゐた国際連合または国連(the United Nations: UN；第二次世界大戦戦勝国連合）は自壊または解散する。

上記（２）のNUNの内訳は更に次のやうになつてゐる。

① ロシアー中国枢軸
② ロシアーサウジアラビア枢軸

この二つの連合、といふよりは既に同盟・alliance枢軸は、ダボス会議が敵だと明言して攻撃の対象としてゐるものである。当然に、サウジアラビアの主導のもとにそのほかのOPECの石油産出国が傘下に含まれてゐる。

何故ウクライナ問題の勃発を契機に、このやうな大きな地殻変動が世界地図の上に起きたのかは、近現代の西欧とアメリカのつくつた資本主義の虚構のもつ矛盾が一気に地殻を割つて噴き出したのだからです。この詳細を私は英語圏の論文をいくつも読んで知るに至り理解しましたが、この知識はまた別に稿を改めてお話ししたい。今ここで、その嘘、その虚構の名前を二つ挙げてをきます。

（１）BIS（Bank for International Settlements：国際決済銀行・国際特殊銀行）
BISをスイス・バーゼルに置いた国際的な中央銀行制度及びBISの傘下にある各国の中央銀行。私の主張は、従ひ、日本についていへば、日銀は百害あつて一利もないので、国民と国家にとつては不要であるので廃止すべきだといふ主張です。他の国もこれにならふ筈なので、この制度は、上記のごとくに経済圏が分解して自律分散すれば、自然に崩壊します。日本が真の意義に於いて独立する絶好機です。

（２）アメリカ・ドル基軸の一極経済圏
これは既に上記の二つの枢軸の生まれたことによつて崩壊してゐる。既にBRICSの仕組みを使つて、BRICK SWIFTといふべき銀行間送金システムは完成してを

り、ロシアからの石油かガスの代金を人民元でインドは支払つてゐる。サウジアラビアもOPEC内で同様の動きになることでせうし、サウジアラビアの通貨を基軸に西アジア・中近東の経済圏が、ロシアと組んで、もつと確実に成長するでせう。同時に中国も同様の恩恵をロシアの主導権のもとに享受します。ロシアの経済が弱いので、ロシアは中国に飲み込まれるといふ根拠不明の説が流布されてゐるのを耳にしますが、物事の順序は全く逆で、習近平の方がプーチンに擦り寄ることになります。ダボスは中国を手駒として使つてゐるので、敵とはしてゐない。対中国には、従ひ、アメリカにはpro-中国とcontra-中国の二つの勢力があることになります。前者はバイデン、後者はトランプと大統領の名前を挙げればわかり易いでせう。日本が真の意義に於いて独立する絶好機です。

この二つの現代経済の虚構・フィクションを論ずると自然に貨幣とは何か、通貨とは何かといふ本質論に至りますので、ここで貨幣・通貨論を論じます。貨幣とはmoneyのこと、通貨とはcurrencyのことです（例：ドル、円、ユーロ、人民元、ルピー等々の国家主権単位の通貨名）。ここで、この二つの名前のことを記憶してをいて下さい。後日本格的に論ずる時に役に立ちます。

最後に、このBretton Woods III　といふ名前について解説をします。

この名前は、スイス本社のアナリストZoltan Pozarのかいた論文による命名をそのまま転用したものです。論文のダウンロードは：https://marketnews.com/credit-suisses-pozsar-s-big-shorts-surrounding-bretton-woods-iii

この論文の題名がIIIであるのは、これ以前にIとIIが同じBretton Woodsの名前であるからです。以下時系列で示します。

１。Bretton Woods I
「ブレトン・ウッズ協定（ブレトン・ウッズきょうてい、英語: Bretton Woods Agreements）とは、第二次世界大戦後半の1944年7月、アメリカ合衆国のニューハンプシャー州ブレトン・ウッズで開かれた連合国通貨金融会議（45ヵ国参加）で締結され、1945年に発効した国際金融機構についての協定である国際通貨基金協定と国際復興開発銀行協定の総称。「アメリカ合衆国ドルを基軸とした固定為替相場制」であり、「1オンス35USドル」と「金兌換」によってアメリカのドルと各国の通貨の交換比率（為替相場）を一定に保つことによって自由貿易を発展させ、世界経済を安定させる仕組みであった。この体制は1971年のニクソンショックまで続き、戦後の西側諸国の経済の復興を支えた。この協定に基づいて確立した体制のことをブレトン・ウッズ体制という。」
（https://ja.wikipedia.org/wiki/ブレトン・ウッズ協定）

２。Bretton Woods II
１９７１年のニクソン・ショックによつて始まつた、ウクライナ問題勃発までの期間がBretoon Woods IIです。

「ニクソン・ショック
ニクソン・ショック（ドル・ショック）とは、1971年8月15日（日本標準時1971年（昭和46年）8月16日）にアメリカ合衆国連邦政府が、それまでの固定比率（1オンス＝35ドル）による米ドル紙幣と金の兌換を一時停止[注釈 1] したことによる、世界経済の枠組みの大幅な変化を指す。当時のリチャード・ニクソン大統領がこの政策転換を発表したことにより、ニクソンの名を冠する。
ショックと呼ぶのは、それまで金と交換できる唯一の通貨がアメリカ合衆国ドルであり、それ故にドルが基軸通貨としてIMF（国際通貨基金）を支えてきたのがブレトン・ウッズ体制であったが、ドルの金交換に応じられないほど米国の金保有量が減ったことにより、戦後の金とドルを中心とした通貨体制を維持することが困難になったこと、そしてこの兌換一時停止は諸外国にも事前に知らされておらず、突然の発表で極めて大きな驚きとともに、その後世界経済に大きな影響を与えたことによる。」（https://ja.wikipedia.org/wiki/ニクソン・ショック）

３。Bretton Woods III
既述の通り、２０２２年２月２４日のロシア軍によるウクライナ侵攻によつて起きた世界的な経済と政治の地殻変動の時代の、これからの未来の政治と経済の世界地図の異変を含む全体をいふ。その全体像は上掲「Bretton Woods III世界地図」の示す通り。
Bretton Woodsといふ名前はもはや地名としての本来の意味を失ひ、符牒になつてゐますが、このやうに節目節目を示すのに便利なので、以後この名前を使ひます。

ネット・モナド論
（３３）
安倍晋三元総理を暗殺した者は誰か？

岩田英哉

I 【追悼】安倍元総理のご冥福をお祈りゐたします

https://www.youtube.com/watch?v=cSp1oTQTJ4M

私は、前々から日本の政治家に対するテロが起きるだらうと思つてゐました。それは、次の理由によります。これを気分としていふと、あるのは閉塞感であり、この感覚を私たち日本国民の外側に樽に締めるタガのやうに締めて感じさせてゐるのが、江藤淳の名付けた「閉ざされた言語空間」であつたし、あるからです。

私が想定した被害者となるべき政治家と官僚（官僚の暗殺も十分にあり得ると思つてゐました）は、ダボス勢力の一味となった公職の人間たちであつて、その筆頭は今のダボスの猿岸田文雄であらうと思つてゐたわけです。これは本当です。

しかし、実際に暗殺されたのは、この無能な現職総理大臣の反対勢力を代表する安倍晋三といふ、世界の弔辞をネットで読み・聞くとみな例外なく日本の国際的な日本国民のために尽力して来た偉大なる政治家といふ評言をしてゐるし、ヨーロッパもアメリカも共にいふのはそれぞれの国々のためにも裨益することを思つてくれた、それでゐて日本の国民のために仕事をした政治家といふ文章となつてゐる。日本の自称報道機関にはこんな正当な評価を此の偉大なる政治家には持つべき本来の言葉は喪失してゐてないであらう。

この政治家の喪失のもたらす国家と国民への影響は次の二つ。

１。その死がマイナスまたは陰性に働く
２。その死がプラスまたは陽性に働く

上記１ならば、憲法改正の勢いの減衰、財務省の財務規律の撤廃等々の渋滞、上記２ならば政参党などの第三勢力（トランプならば草の根保守）による政界への大きな進出。後者２は、これは私の予測です（この文章を書いてゐる時点で2022/07/10 07:03。参議院選挙開票は20:00）。大方のメディアの報道は、この政治家の死が弔い選挙といふことになつて自由民主党といふ名前を裏切って久しい政権与党に有利に働くといふものでしたが、私は正反対の予測をしました。禍福はあざなへる縄のごとし。この過半数をとるといふ一見有利な選挙結果が後で裏目に出るといふことも十分にあり得るのです。

かういふ危機的位置にゐると、私のみならず、物事に割れ目が入り亀裂が入って、誰にでも、両極端の、両面の姿形がよく見えるものです。どちらに傾くか？それはその亀裂から噴き出すものが、火山のマグマであるか、熱湯であるか（例：温泉）、井戸水（冷水）であるかによるだらう。それが衆目に露わになるとは非常に大事な一瞬を迎えてゐるといふことになります。

ここで、やはりあの有名な、ハイデッガーが解釈を施さざるをえなかつたほどに魅力的な、ヘルダーリンの次の詩を思はずにはゐられない。果たしてこのdas Rettende即ち救済者たるモノとは何か？誰か？ドイツ語のこの名詞は中性名詞であり、ニュートラルなるものといふ性格を根本的に有してゐるので、そのまま名詞はそのまま古事記の世界でいふ高天の原の第一層のカミを指します。即ち、天之御中主のカミ、高見結びのカミ、カミ結びのカミ、そして天之常立のカミ。あなたの住んでゐる近傍に神社があるやうに、さうであるならば、神々もまた近傍にゐるのです。

さて、上の私の譬喩（ひゆ）でいへば、亀裂から噴き上げる膨大な熱量・マグマのことです。右でも左でもない今割れた地面の凹から噴き出るニュートラルな、この意味では人間界の人間に都合の良い道徳とは全く無縁のエネルギーです。もつとも、ヘルダーリンのこの詩は、静謐であり、静寂なる、江藤淳の命名に対して正反対に、開かれた言語空間を自由に「飛翔する言葉」（die fliegende Woerter：the flying words）であるのですが。［この飛翔するとは彷徨えるオランダ人とかユダヤ人とかいふときのflyingです。しかしどうもアングロサクソン族どもの用例・用法を見てゐると、天使の飛翔を二重写しになつてゐるやうに、彼奴等の世界では、さう見えもするのです］

Nah ist
Und schwer zu fassen der Gott.
Wo aber Gefahr ist, wächst
Das Rettende auch.
近くにゐるのは
そして捕まへるのが難しいのは、他のどの神ではなく此の神こそなのだ。
危機あるところには、しかし、大きく育つのである
現に救済者たるモノもまた。

このder Gott（神）が日本語で何と呼ばれて来たか、このやうな場合に誰の目にも見える方で出現するカミの名は、古来武神である八幡のカミですが、この度は如何か。鹿島香取の二つの神宮は東西軸に、伊勢神宮は南北軸に主軸を置いて

立ってゐる此の日本の国の此の二つの軸の交差点に立つカミの御名は何か。また、地震が起きるかも知れません。

II 安倍晋三総理をめぐる現場の写真複数枚掲載の記事

ニュース・ソースは、The ZeroHedgeです（https://www.zerohedge.com/geopolitical/former-japanese-pm-shinzo-abe-shot-chest-rushed-hospital）。文章はバイデンの弔意の引用で、見るべきは暗殺者の逮捕前の大きな写真（散弾銃がはっきりみえる）と、氏が昏倒した時の写真です。

犯人を使嗾して暗殺をさせた黒幕の目的は次の通り。

１。憲法改正をさせないための暗殺
２。核ミサイル保有・シェア議論をさせないための暗殺
３。（選挙後に）現在の自民党を分裂させないための暗殺
４。自民党を今のままで操ることができる状態にしたい勢力による暗殺（ダボスといふことになる）

探偵小説の流儀に従い、安倍晋三氏を暗殺して最も得をする人間は誰か？

１。岸田現総理。これはダボスの猿であるので、
２。ダボス会議
３。ダボスの猿岸田による安倍晋三氏の勢力を排除するための暗殺
４。暗殺者が海上自衛隊員であつたといふことが事実ならば、この人選に自衛隊といふ軍隊を否定させる契機を生み出さうといふ悪意があると理解することができる。即ち、
５。軍事費増強への反対圧力の醸成である。
６。具体的な外国勢力は、中国共産党と北朝鮮。これを手駒としてゐるダボス。ロシアの関与はない。

といふことで２から６が背景にあるのであれば、

７。自民党は分裂する。安倍晋三氏の樽のたがが外れたので。岸田の猿が安部清和会を排除する結果になる。岸田のダボス猿は間違いなく全体主義的な恫喝的な説得をする筈なので（茂木といふ政治家の国民に対する消費税導入の説得の恫喝的言辞をみよ、コロナの分類をいまだに２類に維持して放置したまま、マスクをさせたままである現状をみよ）、それを嫌って、選挙後に護る会その他の反対勢

力が分離する。このコメントにはいささかの私的な希望が入ってゐるとはいへ。

８。この死は、上記７の自民党の実態を国民に知らせることになる。保守言論人はそのやうに自民党と公明党を批判すべきである。岸田政権への批判の根拠と視点は国益である。これは平常と変わらず。

III　暗殺計画犯ダボス仮説の補足説明

私の安倍晋三総理暗殺ダボス犯人仮説に関して別途書いたメモから、次の二つのパラグラフを引用して本題に入る：

（１）ですから、論理的に考へて、この政治家の喪失によつて最も利益を受けるのはダボスの猿岸田であることは論を俟たない。何故ならその背後にはダボス勢力がついてゐるからです。さういふ意義に於いては、先月にまづダボスの猿廻しシュバブが、次にバイデンが、ついでQUADの首脳が何故か連続的に短日時の間隔を置いて来日したことは誠に怪しいことである。

（２）［暗殺後の］この二日で、ネットの寄稿文（英独）や動画での東京特派員のドイツの発信を見てゐると次の二つの今後の予測が日本の今後について、国際的な視点からは、ある。

１。安倍総理の目指した方向からの後退
２。この政治家の死による目指した方向への前進

さて、私のダボス暗殺仮説が正しいとすれば、ダボスの目指したものは、上記１である。この上記１をもつと強化して、日本の政界・経済界・官界・司法界にゐるダボス人脈を猿のやうに使ひ廻し、また国連の機関をつかひ、バイデン・アメリカを使ひ、あらゆる手段を講じて、日本を奴隷化し、極端にいへばウクライナ化しようといふことである。日本国内にジョージ・ソロスのOpen Society Foundationがあれば、これは最悪の状態だといふことになるが、はたしてどうか。この財団の名前が国内にないとしても、ソロスの手先の機関が金を配る実働部隊として別名でないものか。調査すべきである。ヨーロッパとアメリカにあるものが日本にないわけがない。

ここまで考へて来て思ひ出した分類が、内発と外発といふ明治の文豪夏目漱石が文明開花について使つた分類です。これは、内部要因と外部要因といふ言葉をそのうちに含んでゐる。外発の文物が果たして、日本の国と国民の生活を豊かにす

るかとふ問ひに答へようとした時に漱石の用ひた用語である。１５０年後にこの文脈で用ひることに意味はあるだらう。

問０：今回の安倍総理の暗殺は、内発か外発か？または内部要因で起きたのか？外部要因で起きたのか？この問ひには以下の４つの問ひの後に最後に答へよう。

具体的な私の４つの問は次のやうなものである：

問１：何故トランプ大統領の告別式への参加が叶はなかったのか？それなのに、
問２：何故、日本が国家承認もしてゐない台湾の副総裁が告別式に参列が許されたのか？
問３：その判断を許したのは誰か？
問４：何故国葬が秋になつたのか？

結論をいへば、これらの判断を下したのは国家の政治上の最高責任者であるダボスの猿岸田であるといふことは明らかである。とすると、次の論理が問と答の形式の上に、成り立つ。

問１：何故トランプ大統領の告別式への参加が叶はなかったのか？
答１：トランプが来日して追悼の言葉を述べるなどすると、あるいは述べずとも参列するだけで、日本国内の反ダボス・反グローバリズムの保守勢力が力を増して国内に広がることを恐れたからである。

問２：何故、日本が国家承認もしてゐない台湾の副総裁が告別式に参列が許されたのか？
答２：これはこのまま私の仮説の論理に従へば、台湾はダボス勢力の一員でありグローバリズム国家だといふことを意味してゐることになる。
そして、よく考へてみると半導体の製造と輸出をめぐつては、日本からのdual use技術の移転、台湾のTSMCからの中国人民解放軍への半導体の優先的な供給と、世界中での半導体不足の主要な原因とTSMCの製造・供給政策がなつてゐるといふ事実とこの仮説を掛け合わせると、半導体不足による（これは外発）日本のトヨタ潰し（他方EV車といふダボス由来とはいへ内発の仕掛けも施されてゐるわけだが）、経済産業省といふ官界による半導体産業を含めた積年の日本経済の衰退政策（衰退の方向はダボスの意図に一致してゐる、即ちその国家の破壊と滅亡である）の説明がつく。

問３：その判断を許したのは誰か？
答３：当然にダボスの猿岸田文雄である。

問４：何故国葬が秋になつたのか？
答４：それは答１と同じで、秋になればアメリカでの国政選挙があるので、トランプは来日できないからである。さうなれば、日本国内の反ダボス・反グローバリズム勢力に余計な火をつけずに済むことになるからだ。普通に考へれば、秋に伸ばす理由はなく、亡くなった時に、即ち今私たちは国葬の儀にただ中にゐて頭（こうべ）を垂れてゐる筈である。この意図的な国葬の秋への遅延をこそ、その判断の根拠を政府に問ひただすべきである。

問０に答へよう。

問０：今回の安倍総理の暗殺は、内発か外発か？または内部要因で起きたのか？外部要因で起きたのか？
答０：外発であり、外部要因で起きたといふのが、私の仮説の第一の指摘である。それ故に、外部からやつて来て国の内部に入って来る人間たちの具体的な名前が上記の通りであれば、これらの外国人の帰属する組織（国家も含む）による国内事件の外発と外部要因を疑ふべきである（例：暗殺の少し前に来日してダボス猿岸田文雄と会談したダボスの首魁シュバブ）。

このやうに考へると、至極当たり前だが、安倍晋三といふすぐれた国際的な政治家のあのやうな死が通り一辺の通俗的な大衆理解の範囲で片付く死である筈がない。象徴的な意義に於いても、現実的な意味に於いても、である。これを常識といふのではないのか。

追記：
他方、英語圏のニュースレターの配信に、私と同じ、しかし思考経路はもっぱら投資家の立場からみての、［ダボス・ロンドンシティ・ウール街・ユダヤ国際金融勢力・ワシントンのネオコン］のDeep State［註］の起こした事件として、まづジョンソン辞任（イギリス）、Shizo Abeの暗殺（日本）、ドラギの辞任（イタリア）といふ国際政治の連続的な直近過去の時系列の事件発生についてのダボス犯人説を唱へるものがゐて、これは英文の解説の方に量を割かねばならず、掲載とコメントの付記は控へました。この筆者は、Shinzo Abeの暗殺をダボスによるもの、といふことはその奥の院にゐる、さうは文字にしてゐないが、ロスチャイルド犯人説を唱へてゐるといふことになります。桜を観る会とかモリカケなどといふくだらぬことを問題にして政治的日程を遅延させようといふ野党には、外国勢力に操られる操り人形の役目はできても、その木偶（でく）の棒の節穴の目には、国際情勢の映ることはないのです。それとも、縄文土器の土偶のあの穴の眼を取り戻すべきときではないのか。

［註］

Deep Stateの定義は次の通り（『ネット・モナド論 (29)』の「ロスチャイルドとは何か」（もぐら通信第１５５号）：

Deep State consists of the Democratic party, the media and the coalition of intelligence, military and political agencies.

ディープ・ステートとは、アメリカの民主党、メディア、並びに諜報機関・軍事及び政治の代理人たちからなる連携から構成されてゐる。

これを次のやうに変形して定義とする。

ディープ・ステートの定義

ディープ・ステートとは、アメリカの民主党、メディア、並びに諜報機関・軍事及び政治の代理人たちからなる連携から構成されてゐる地下ユダヤ人国家である。

［補足説明］

軍事及び政治の代理人たちとは、ワシントンに巣食ふ軍需産 業の利益を代理してロビー活動をする個人または団体、及び政治の代理人とはズ バリ民主党の政治家であり(勿論共和党にもゐるだらうが主たるものはといふ意 味です)、またはその意を受けてロビー活動をする個人または団体である。トラ ンプのいふSwamp、瘴気漂ふ沼である。日本にも同様の個人または団体がロビ イストとして活動してゐる筈なので、このリストを作成して、国民に向けて公表 さるべきである。アメリカと同じく登録制度にして氏名を開示し、渡した金の金 額も検証の上明示させ記入させて、絶えず新しくして国民の目に広く目に付くや うにしては如何か。

また実際今回のウクライナ問題をめぐつては、イギリスとアメリカは手を組んで ゐることが解りますし、この問題以前にウクライナとロシアとの関係でオバマ政 権下で副大統領であつたバイデンが多額の賄賂を受けとつてゐるといふ事実と、 その後トランプが大統領選挙に出た2016年に同氏のロシア疑惑をでっち上げ たことにヒラリー陣営にはイギリスのMI6が関与してゐたイギリス人がゐたと いふこと、これらの事態の遷移のなかに「諜報機関の連携」があるでせう。この 連携をメディアに繋いで扇動報道をさせれば「メディア、及び諜報機関の連

携」がそのまま文字通りに事実として日本にもある筈の定義の文言となつてゐます。

また、ネオコンは、アメリカ・ニューヨークのウオール街のみならず、国際金融勢力と組んでゐる以上は、のロンドン・シティにも巣食つてゐることを忘れてはなりません（「Sanctions Only Buy Time, Not Victory」：https://tomluongo.me/2022/07/31/sanctions-only-buy-time-not-victory/："Remember, when it comes to fighting Russia and China, *Davos* and US/UK neocons have common purpose. When it comes to who controls the restored Unipolar world and what it looks like, that's where their paths diverge."）。

【カフカの箴言４】

岩田英哉

【カフカの箴言４】

【原文】

Viele Schatten der Abgeschiedenen beschäftigen sich nur damit, die Fluten des Totenflusses zu belecken, weil er von uns herkommt und noch den salzigen Geschmack unserer Meere hat. Vor Ekel sträubt sich dann der Fluss, nimmt eine rückläufige Strömung und schwemmt die Toten ins Leben zurück. Sie aber sind glücklich, singen Danklieder und streicheln den Empörten.

【和訳】

孤独なものたちの数多くの影は、ただ、死の河の洪水を舐めているのにいそしむだけである。何故ならば、死の河は、生きてゐるわたしたちに由来するものであり、そして、わたしたちの海の塩辛い味を依然として持つているからである。すると、次には、吐き気の余りに、その河は、ささくれ立ち、逆流し、死者たちを生命の中へと逆に押し流して、入れるのだ。死者達は、しかし、幸福であり、感謝の歌を歌ひ、そして、怒れる者たちをなでて愛撫するのだ。

【解釈と鑑賞】

冒頭、孤独なものたちと訳したドイツ語は、die Abgeschiedenenであって、本来は、分離されたもの、場合によっては死者と同義の、孤独な者、隠退した者という意味です。

とはいへ、まだ死んでいるわけではなく、一人とは言え、生きているのです。

そのやうな人間たちの影は、といつてゐるところをみると、この孤独な隠退者たちは、文字通りにさうであるひとも含み、実際に社会のなかにゐて、しかも尚そのやうなものの考へ方にある人間達を指して言つてゐるのだと思はれる。それゆゑに、「孤独なものたちの数多くの影」といつて、数多くの影といふ言葉を主語にしたのだらうと思ひます。

さて、さうだとして、そのこころの在り方の影は、わたしたちの生きてゐること

から来る影であります。そして、その生活とは、死の河を舐めるのだといふ。死の河を舐めるとは、死の河の水を舐めるといふ意味でせう。

そして、その河の水は、わたしたちの海から来るので、塩辛い。カフカが、人生を塩辛いと、生きることを、その味で呼んだといふこと、そのやうに考えてゐたことがわかります。

わたしたちの海とは、普通に考へると、わたしたちの生まれた、生命のもといふ意味ですが、さうであるか、またさうでないかは別としても、わたしたちの生命、生活の由来する源、よつて来るところは、海であって、もともと塩辛いものだといふのです。

単なる生命讃歌では全然ありません。

また、海は単数形ではなく、複数形でありますから、それぞれのひとたちが自分の海を持つていて、その自分の海に由来してゐると、カフカが考えていることがわかります。これは、普通の海の形象（イメージ）とは全く別で、この複数の海そのものが、実に孤独です。それ故に、さうカフカは考へている故に、確かに、その味は一層塩辛いのでしょう。

これが、カフカという人なのでせう。

さて、このような現実の姿を見て、死の河は吐き気を催し、その余りに逆流をして、死者たちを生命の中へ、生活の中へと、戻すといふのです。
（この場合の河と訳したder Flussは、単数ですから、どの河もみな同じように一様に行動するという意味になるでせう。また、こうしてみると、最初の死者の河といつてゐる河は、死者達が流れている河といふ意味であることがわかります。死者達が流れて河になつてゐるといふのです。）

にもかかはらず、即ち塩辛い味のする生命と生活に戻つて来てゐるのにもかかはらず、死者達は、喜んでゐて、感謝の歌まで歌ふといふ。
さうして、怒り、憤慨するものをなでて、なだめるといふのです。

死の河の洪水とある洪水も、複数形ですから、それはもう何度もしょっちゅう、ひっきりなしに、日常的にやって来るのかも知れません。

さて、第二行目の「すると、次には、」とある、dann、次にはとは、一体なにがあつて、その次には、そうなると言つてゐるのでせうか。

やはり、それは、「孤独なものたちの数多くの影は、ただ、死の河の洪水を舐めてゐるのにいそしむだけである」という現実を見て、といふことになるでせう。その現実に吐き気を催す。死者達は、河のやうに流れているが、その死者達は、生者の中に生きてゐる死者のごとき（死者そのものではない）生者に舐められるのに堪え難いといつてゐるのです。

従つて、その生者の故郷である塩辛い海などには帰りたくない。死者たちもまた、生者と同じ故郷、海に帰る定めのやうです。死者と生者が同じところに帰つて、一緒になる、そんなことは、いやだ、やつてられないと死者達は考へて、生者の世界に逆流して戻つて来るといふのです。さうして、生者たち、とはいへ、しかし、隠者のやうに孤独な人間達の住む世界に戻つて来る。

この箴言は、２行からなつてゐますが、最初の一行は、カフカのみた現実を、二つ目の行は、その現実の姿のおぞましさに、バランス（均衡）をとるために、カフカが想像し、創造した二つ目の現実といふことなのかも知れません。

そうだとすると、カフカの小説を書くときの動機と、そのありのままの姿が、ここにあるといふことになります。

死者達が生者の中に生きてゐる世界。何か、ヨーロッパの中世の、死の舞踏と呼ばれる銅版画のある時代を思はせるような気がします。

死者達が帰つて来て尚、この世で生きるものの中に怒れる者がゐて、死者がその者をなだめ、慰めるといふ書き方をするほどに、何かカフカといふ人のものの見方には、情け容赦のないものがあります。怒れる者は、単数形で定冠詞がついてゐますので、何かその姿は人間の典型であるかのやうに書かれてゐます。

高天原便り
（4）
私が妊婦になつた話

岩田英哉

過日東京から高速バスで高天原に戻り、貫頭衣を来たまま、鹿島神宮前に降り立つと小雨がふつてゐた。いつもはバスの時間待ちに道路を渡つた向かうにある小さなカフェに入つて、その間美味いコーヒーを飲んでぼんやりして広い窓から駅舎とまばらな人の行き来を眺めてゐるのだが、今日はあいにく閉店で、一休みするところがないので、他の店をさがさうと歩き始めて、歩道を渡らうとすると、目の前に小柄な老婆が、これも小さな傘をさして立つてゐたのです。そして、わたしを見上げて、かう大きな声を掛けた。

老婆：あんたは、女だね、女でせう。
私：いえ、違ひます。
老婆：いや、女だ。
私：いえ、ぼ・く・は、男です。
老婆：嘘だあ、女だ。お腹が出てゐる。

といふわけで、私は妊婦になつてしまつた。

鹿嶋に来た当初、高天原といふ地名のバス停のある間違つたバスに一緒に乗らうと強く誘つてくれたあの老婆も小柄でしたし、土地の人の人柄で、初対面の人にでも親切にさうしてくれるのだと後で思ひましたが、この老婆もまた小柄で親切で人懐っこくて、休憩の店を探してゐるなら一緒に坂を上の参道まで行かうと誘つてくれたのですが、小雨は降り続けてゐるし、鹿嶋神宮の坂の上の参道までは少し距離もあり、その間に濡れてしまふので何度かの誘ひをお断りしましたが、この老婆もまたひよつとしたら、バスに誘つてくれた最初の老婆や、伊勢神宮に連れていつてもらつたあの老齢の運転手さんと同じ案内人であるミコト持ちであつたのかも知れないと後で、傘をさした老婆の小さな後ろ姿が坂を登るのを見送りながら、さう思ひました。とすれば、私は自分の都合で大切な機会を失つてしまつたといふことになりますが、しかし、また会へるのではないかといふ気持ちもします。今度会ふ時には、この老婆はまた別のヒトの姿をして別の名前で私の前に立ち現れるに違ひない。かうなると、全く古事記の世界です。確かに此処は高天原なのです。私もまた幾つも名前を持つミコト持ちになつて、いつの間に、ゐるのでありませう。

不思議なことに、女性に間違へられたのは、これで此の地に来てから、二度目で

す。一度目は近所の、なるほど何故かやはり七十を過ぎた老いた女性が近づいて来て突然、あなた女の人でせう？といはれて、いえ、男ですと答へても、やはり私の答へを否定して、いや男なんですと答へを繰り返しても、なんだか不審さうに私を見て私が男であることを信用しないでゐましたが、もつと近づいて来て会話が始まるとどうやら私が男であると納得してくれた様子です。この二度とも、私は貫頭衣を着てゐたので、女性に見えたのかもしれないと思つてみたが、どうも釈然としないのです。私は本当は女なのかも知れないのです。年の功を経た女性からみて、間違ひなく女であると鑑定される男とは一体どんな男なのでありませうか。

いよいよ、高天原にもLGBTQの波がやつて来たのであらうか。しかし、このLGBTQといふ記号化された英文字の羅列は思ひ出すのに時間がかかり、いつも面倒臭ひので、到頭これを私はBBQと呼ぶことにした。B.B. Kingではない、BBQである。バーベキューの略号です。この方が食欲に関係するので、思ひ悩まずに素直な気持ちで思ひ出すことができる。BBQ、男でも女でもなんでもそんな性の違ひがなんだ、男でも女でも串刺しにして焼いて食つてやる。といふ意味です。

BBQのついでに食生活のことですが、隣近所のおばさんの話を聞くと、前回写真を載せたあの美しい黒土の畑の持ち主はケチなのだといふので、何故ですかと理由を聞くと、やはり小さな地域地域で此の鹿嶋では助け合ひの精神で生活してゐることが、農業のこととともにあるのだといふ知見を得ることができます。普通の鹿嶋の畑では、秋の収穫があると、その畑の持ち主は規格はづれの形の悪い作物は売れないので、芋であれ大根であれ何であれ、畑のどこかに一まとまりにして置いて置いてくれてゐて、近所の人たちはそれを毎年楽しみにしてゐて、この収穫のおこぼれをとりに行くのださうですが、しかしその畑の主は根こそぎ全部収穫を持つて行つてしまふのでケチな野郎だといふわけです。といつて、高天原の人の生活の一端を教へてくれた此のおばさんからもらつた、庭の菜園で採れた大きな白茄子の一つの写真がこれです。ステーキにすると美味しいといふので、早速厚く切つて焼いてみたら、美味しかった。

あと、茄子の他には、ジャガイモに、普通の紫色の茄子を頂いた。

このおばさんに限らず、近隣の家々ではみな庭に菜園をこしらへてゐて、お互ひの家を尋ねる時の手土産が自分でこしらへた野菜であるといふのは、私の子供の頃の田舎の生活とどこか同じであるのは懐かしい。

鹿嶋の人たちは、みな昔の懐かしい礼儀正しい日本人といふ日本人です。既知の人か未知の人かに関係なく、道のこちらであれ向かうであれ、すれ違ふと挨拶を必ずします。ことに子供たちのその姿は声も元気で礼儀正しく、清々しい。そして、この町は不思議なことに、北の神栖市の方が盛んで、また南の方がまた盛んで、丁度エアポケットに収まつたやうな土地になつてゐるのです。鹿嶋市をここで宣伝しますと、従ひ地価も安く、私の庵の土地の地目は登記簿を見ると山林となつてゐて住宅地ではなく、従ひ、固定資産税もかからないといふ、これも不思議の土地なのである。そして、物価が安い。毎週土曜日に立つ野菜市場の様子は値段とともにまたお話します。地産地消の生活を人は此の地でしてゐる。この市の立つのを私は毎週楽しみにしてゐる。

さて、かくして、私は山林に住んでゐる猪や狸の兄弟（はらから）である。どうも夜、庭に来てゴソゴソやつてゐるのは、白茄子おばさんの話では、猪ではなくハクビシンだといふことです。

ハクビシン

ハクビシン：https://ja.wikipedia.org/wiki/ハクビシン

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く

（３５）

５.３６　大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか

目次

I 縄文紀元日本語論
１。日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の１％しかゐないのか？

２。日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か
３。五十音表を記号化する
４。日本人の言語宇宙
５。古事記の宇宙観
５.１ 高天原とは何か１
５.２ カミとは何か１
５.３ 高天原とは何か２
５.４ 日本語の特殊の中の普遍
５.５ 海の民のお祭りと超越論の関係
５.６ 天照大神とは何か
５.７ 月読命とは何か
５.７.１ 月とは何か
５.７.２ 月読命とは何か
５.７.３ 月読神社とは何か
５.７.４ ヤシロとは何か
５.７.５「鹿座神影図」を読み解く
５.７.６ 磐座と注連縄の関係
５.７.７ 亀の甲羅とは何か
５.７.８ 習合とは何か
５.８ カタカナとひらかなの関係

Intermezzo２：海凪之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は
一体どんな姿をしてゐるのか

５.９ 日本位相習合史
５.１０ 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか
５.１１ かごめかごめの歌は一体何を歌つてゐるのか
５.１２ 縄文土偶とは一体何か
５.１３ 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか
５.１３.１ 位相史のための紀元の分類
５.１３.２ 淤能碁呂島とは何か
５.１５ 縄文土器とは何か
５.１６ 大祓へを読み解く
５.１６.１ 何故私たちは御祓を必要とするのか
５.１６.２ 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

５.１６.３「聞こし召す」前に「しろし召す」がある
（１）第一段：高天原八百万神大祓ひ会議
（２）第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓
（３）第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか
５.１６.４ 八の音義は何を意味するか
Intermezzo ３　伊勢神宮とは何か

青字は既論の章、赤字 は今回論ずる章、黒字は此れから論じる章

Intermezzo ３-1　伊勢神宮をやまと言葉で読む
５.１６.４-1　八の音義は何を意味するか２
５.１６.５ 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
５.１７　いほりとは何か
５.１８「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか
５.１９　クラとは何か
５.２２「日本列島位相史」の最新版を
５.２３　神武天皇のやまとことばの意味は何か
５.２４ 世界史の中の神武天皇
５.２５　何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？
５.２７　カミとは何か２：何故カミはカミと呼ばれるのか？
５.２８　鹿島神宮とは何か
５.２９　神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか
５.３０ 鹿島神宮とは何か２：鹿島神宮の位置と東西南北の鳥居の関係について
５.３１　高天原とは何か
５.３２　経津主大神とは何か
５.３３　「天津国津・東西の神宮とカミ・ヌシの関係」表
５.３４　神宮をやまとことばで読み解く
５.３５　鹿嶋灘を前にしてある東の一之鳥居の立つ明石が浜に南太平洋から一族・部 族を率いて最初に上陸した、その意義では(in this sense)本当のハツクニ・シラス・ スメラ・ミコトの本名はなんといふのか
５.３６　鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？
５.３７　大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか
５.３８　アメの岩屋戸はどこにあるのか
５.３９　天照大御神が凹に「さし籠もりましき」とある意味
５.４０　アメの安の河と安の河原はどこにあるのか
５.４１　アメの安の河原に集ふた神々は何か、どんな神か、そして何故そんなことを するのか
５.４２　鹿島神宮を初めてお参りした時に八咫烏の現れた話
５.４３　高天原の生活は如何なるものか
５.４４　日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲
５.４５　日高見国と播磨国の関係：ダイダラボッチ
５.４６　日本とは何か

５.３６　鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

待て次号

編集後記

今月は、お休み

差出人:

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町
「閉ざされた無限」

安部公房の広場
連絡先：eiya.iwata@gmail.com

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い圖書館」

【もぐら通信の編集方針】

１．もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
２．もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
３．もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
４．編集子自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。